

学長定例記者会見要項

日 時： 令和6年10月3日（木） 11：00～11：45

場 所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

発表事項

1. 山形大学と山形銀行が連携協定を締結～地域のデジタルイノベーションを目指して～
2. 欧州5カ国の大学とスマート農林業のための交流を強化します～文部科学省「大学の世界展開力強化事業」に採択～
3. サステナブル社会実現のための新規テキスタイル開発への挑戦～成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）での開発～
4. 山形大学オリジナルマイボトルを販売～学生と山形大学生協による共同作製～
5. 枠に捉われない学び | JUHYO プログラム～空きコマを活用した学びから学生の魅力を引き出す～
6. 今年も開催決定！「データ駆動型課題解決スキルセット講座」～企業研修と学生の主体的な学びをつなぐ新たな価値創生～
7. 企画展「伊佐早謙一琉球・沖縄史料のまもりびと」を開催します～附属図書館（中央図書館）で10/8（火）～12/8（日）まで～
8. 山大アルファ化米粉レシピコンテスト 2024 の開催～山大アルファ化米粉を使ったレシピを考えて応募しよう～



お知らせ

1. 大学生を応援するオンラインチャリティーイベント「Giving Campaign 2024」を開催します
2. やまがた共創塾 経営者向け人材育成セミナー・シンポジウムの開催について
3. 社会人向け「地図を使ったデータビジュアライゼーション」を開講します～エクステンションぷらすα×やまがた共創塾～
4. 山大生が地元企業の若手社員を取材・情報発信～Instagram「働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業」第5弾～
5. サクソフォン奏者 芳賀大峰による公開セミナーを開催～サクソフォンの多彩なレパートリー～
6. 研究者×料理人×企業家で考える 私と社会にとっての“よく食べる”
7. 令和6年度第1回山形大学農学部 研究シーズ説明会
8. 山形大学フットサル大会を10月26日（土）に開催します～学部の垣根を越えた交流を目指して～
9. 知られざる山形の希少食材の味を作り出す タンパク質の未知に迫る
10. サイエンスカフェ「研究者、魚醤と出会う」



（参 考）

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：令和6年11月7日（木） 11：00～11：45

場 所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

学長定例記者会見（10月3日）発表

1. 山形大学と山形銀行が連携協定を締結～地域のデジタルイノベーションを目指して～

学 長

理事（教育担当）・副学長

山形銀行 取締役頭取

たまたま ひでとし
玉手 英利
でぐち たけし
出口 毅
きとう えいじ
佐藤 英司

2. 欧州5カ国の大学とスマート農林業のための交流を強化します～文部科学省「大学の世界展開力強化事業」に採択～

副学長（国際担当）

農学部学部長

むらやま ひでき
村山 秀樹
わたなべ とおる
渡部 徹（オンライン）

3. サステナブル社会実現のための新規テキスタイル開発への挑戦～成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）での開発～

学術研究院 教授（有機材料システム）

まつば ごう
松葉 豪

4. 山形大学オリジナルマイボトルを販売～学生と山形大学生協による共同作製～

学術研究院 教授（理学部主担当）

山形大学生協同組合 専務理事

山形大学生協同組合 学びサポートプラザ・小白川コンビニ店 店長

医学部看護学科1年

工学部建築・デザイン学科1年

くりやま やすなお
栗山 恭直
たかはし なおや
高橋 直也
えんどう りさ
遠藤 理紗
こんの ひめか
紺野 ひめか
きとう なぎさ
佐藤 なぎさ
佐藤 凧紗

5. 枠に捉われない学び | JUHYO プログラム～空きコマを活用した学びから学生の魅力を引き出す～

学術研究院 教授（理学部主担当）

縁と縁 代表



おくの たかし
奥野 貴士
おおさき ゆうや
大崎 雄哉

6. 今年も開催決定！「データ駆動型課題解決スキルセット講座」～企業研修と学生の主体的な学びをつなぐ新たな価値創生～

学術研究院 教授（理学部主担当）

株式会社どうぐばこ 代表取締役



おくの たかし
奥野 貴士
こばやし きよし
小林 聖志

7. 企画展「伊佐早謙—琉球・沖縄史料のまもりびと」を開催します～附属図書館（中央図書館）で10/8（火）～12/8（日）まで～

附属図書館中央図書館館長・学術研究院 教授（人文社会科学部主担当）

学術研究院 講師（人文社会科学部主担当）

いけだ みつり
池田 光則
いしぐろ しほ
石黒 志保

8. 山大アルファ化米粉レシピコンテスト 2024 の開催～山大アルファ化米粉を使ったレシピを考えて応募しよう～

大学院有機材料システム研究科 修士1年

山大アルファ化米粉ひろめ隊 隊長

大学院有機材料システム研究科 修士1年

山大アルファ化米粉ひろめ隊 副隊長

おだ ようた
小田 陽太

いはた えりか
飯畑 恵里佳



令和6年（2024年）10月3日

山形大学と山形銀行が連携協定を締結 ～地域のデジタルイノベーションを目指して～

【本件のポイント】

- 令和7（2025）年4月に設置する大学院理工学研究科 数理情報システム専攻において、相互の連携により実践的な教育研究を行い、高度情報専門人材を育成することを目的に山形大学と山形銀行が連携協定を締結
- 互いに連携・協働することで、地域のデジタルイノベーションの推進につながることを期待



【概要】

山形大学は、令和7（2025）年4月に大学院理工学研究科数理情報システム専攻を設置し、情報科学や数理・データサイエンスの深い専門知識を修得し、リアル空間とサイバー空間の融合領域技術を活用した社会課題の解決をリードする高度情報専門人材を養成することとしている。

そこで、社会課題と結びついた実践的な教育研究の実施体制を構築するため、山形県内における商工業、農業、医療、福祉、教育、行政などさまざまな分野のネットワークや情報を有する山形銀行とデジタルイノベーションに関する連携協定を締結する。本分野の連携協定は、山形県情報産業協会、山形新聞社（5G・IoT・AIコンソーシアム事務局）に次いで3例目となる。

今後の具体的な活動として、実務家教員の派遣、インターンシップの受入れから連携を開始する。学術的観点と実務的観点が融合し、両者のフィールドを活かした取り組みを連携して進めることで、大学院修了後、即戦力としての学生の活躍が期待できる。

【連携協定の内容】

- 協定の名称： 株式会社山形銀行と国立大学法人山形大学とのデジタルイノベーションに関する連携協定書
- 締結年月日： 令和6（2024）年10月3日
- 期間： 令和11（2029）年10月2日まで（更新あり）
- 目的： 山形銀行及び山形大学が相互の連携と協力により、それぞれが有する人的・物的・知的資源を有効に活用して、地域のデジタルイノベーションを推進すること
- 連携内容： (1) 実務家教員の派遣に関すること
(2) インターンシップの受入れに関すること
(3) 社会人教育に関すること
(4) 共同研究の推進に関すること
(5) 地域のデジタルイノベーション推進に関すること
(6) その他、双方が協議の上、同意した取組みに関すること

【新専攻の概要】

- 専攻名称： 大学院理工学研究科 博士前期課程 数理情報システム専攻
- 設置時期： 令和7（2025）年4月
- 入学定員： 88名
- 設置場所： 米沢キャンパス（山形県米沢市）及び小白川キャンパス（山形県山形市）

お問い合わせ

国立大学法人山形大学 企画・戦略室長 内藤

TEL 023-628-4190 メール yu-kikair@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

株式会社山形銀行 経営企画部 広報室

TEL 023-623-1221（代表）【受付時間】9：00～17：00



山形大学における 地域のデジタルイノベーション 推進に向けた取組み

国立大学法人山形大学

高度情報専門人材の確保に向けた機能強化

支援2 高度情報専門人材の確保に向けた機能強化の構想について

令和6年度 大学(一般枠) 山形大学



事業計画名 山形大学における地域のデジタルイノベーションを加速する循環教育モデルの確立

基本情報

改組内容	研究科等の設置・増員+学部等の設置・増員
所在地	[修士]山形県米沢市、山形県山形市 [学士]山形県山形市
増員する情報系組織名(修士)	理工学研究科数理情報システム専攻
入学定員増数及び増員時期(修士)	20名(R7)
増員する情報系組織名(学士)	社会共創デジタル学環(学部等連係課程実施基本組織)
入学定員増数及び増員時期(学士)	30名(R7)

※令和6年度～15年度にかけて760,000,000円助成

<社会や地域のニーズ・課題>

- 山形県は人口減少率が全国で4番目に高く、今後の産業振興に必要な人材を確保するためにはデジタルの力を活用することは必須。野村総合研究所による社会のデジタル度を可視化する指標(DCISコア)で、2022年度山形県は全国44位とデジタル化が遅れている。
- 5G・IoT・AIコンソーシアム(山形県内44の団体・情報関係企業で設立)にデジタル化の課題について調査したところ、デジタル人材の不足を掲げる企業が圧倒的に多い。データサイエンス、サイバーセキュリティ等情報科学の知識・プログラム開発能力といった専門知識だけでなく、課題の発掘、提案・解決能力まで持った人材を求めている。
- 地域のDX化を推進するために、山形県と連携協定を締結した。(R5.2.17)

<研究科等の体制強化の概要・コンセプト・特徴など>

- 学士課程から大学院課程まで一貫した方針の基で情報人材の育成、地域のデジタルニーズの集約・課題解決を継続して行うために、学長をトップとする「デジタル共創推進本部」を設置する。また、産学官の有識者による外部評価を実施する。
- 数理情報システム専攻は、全学の情報系教員を集約し39名の専任教員体制でスタートした後、実務家教員を含め新たに8名の専任教員を雇用し、体制を強化する。
- 山形県全域でのDX推進のため、山形市・米沢市の2拠点でオンラインを活用した教育を行う。
- 数理情報システム専攻への進学者拡大のために、学部等連係課程として「社会共創デジタル学環」を設置する。

<教育内容・育成する人材像>

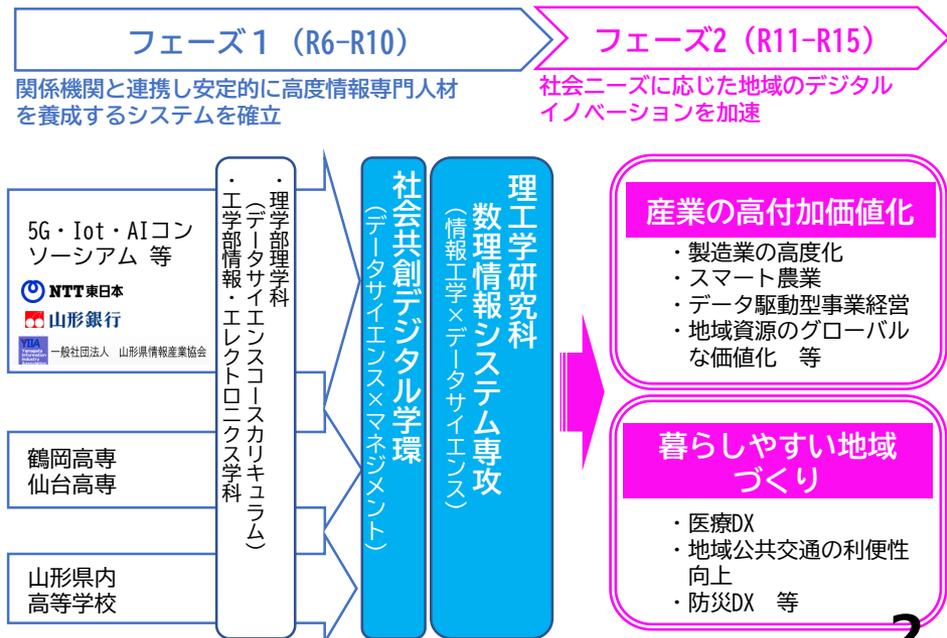
- 「数理情報システム専攻」では、情報科学や数理・データサイエンスの深い専門知識、電気情報システムの専門技術を身につけ、次世代の情報産業およびその基盤技術を構築できる人材やデジタル技術によりサイバー空間とフィジカル空間を融合させ社会的課題を解決に導く人材を養成する。
- 教育課程の編成・実施の方針に基づき体系的なカリキュラムを編成し、特に、高度専門科目Ⅰとして、社会のニーズを踏まえた実務家教員等によるオムニバス講義「数理情報システム特論」、従来のインターンシップと異なり企業担当者の指導のもとでの課題解決型の「高度情報インターンシップ」を開講する。

<初中段階・他大学・高専・企業・自治体等との連携>

- 山形県内高校でのプログラミング出張授業を実施する。また、デジタルチャレンジ特待生を活用した県内高校への情報教育支援を行う。
- 高専専攻科からの成績優秀者を対象とした本学独自の奨学金制度(デジタルチャレンジ特待生・高専枠)を構築する。高専専攻科生のインターンシップ受入、授業科目の共同開講を行う。
- 「5G・IoT・AIコンソーシアム」加盟機関と協定を締結し、新専攻の主要授業科目である「高度情報インターンシップ」「数理情報システム特論」を開講する。

<女子学生、社会人学生、留学生等の確保>

- 山形西高等学校(県内進学校で唯一の女子高)をはじめ山形県内進学校における、山形大学女性大学院生ネットワーク(JOIN)等を活用した出張講義、ワークショップを毎年度実施する。
- 平日以外に受講できる教育環境を整備する。5G・IoT・AIコンソーシアム加盟機関との協定締結により社会人を受入れる体制を整備する。企業から新専攻への社会人学生派遣の呼び水とするために、産学連携による共同リカレント講座を開講する。
- 国費留学生推薦入試および私費外国人留学生入学試験制度の利用による留学生を確保する。



数理情報システム専攻の設置

< 社会ニーズ >

- ① 次世代の情報産業およびその基盤技術の構築、およびサイバー・フィジカル融合を促進する情報創成人材の育成
- ② 地域産業のデジタル化支援及び人材育成：地域の産業界と連携したデジタル化の導入をけん引する高度情報専門人材の育成
- ③ 教育研究機関との連携：地域の初等中等機関、高専、他大学などと連携したデジタル教育の推進やデジタルリテラシーの向上
- ④ 地域の公共サービスのデジタル化や持続可能な開発への貢献

統合・拡充 入学定員88名

理学専攻
データサイエンス領域
(小白川)

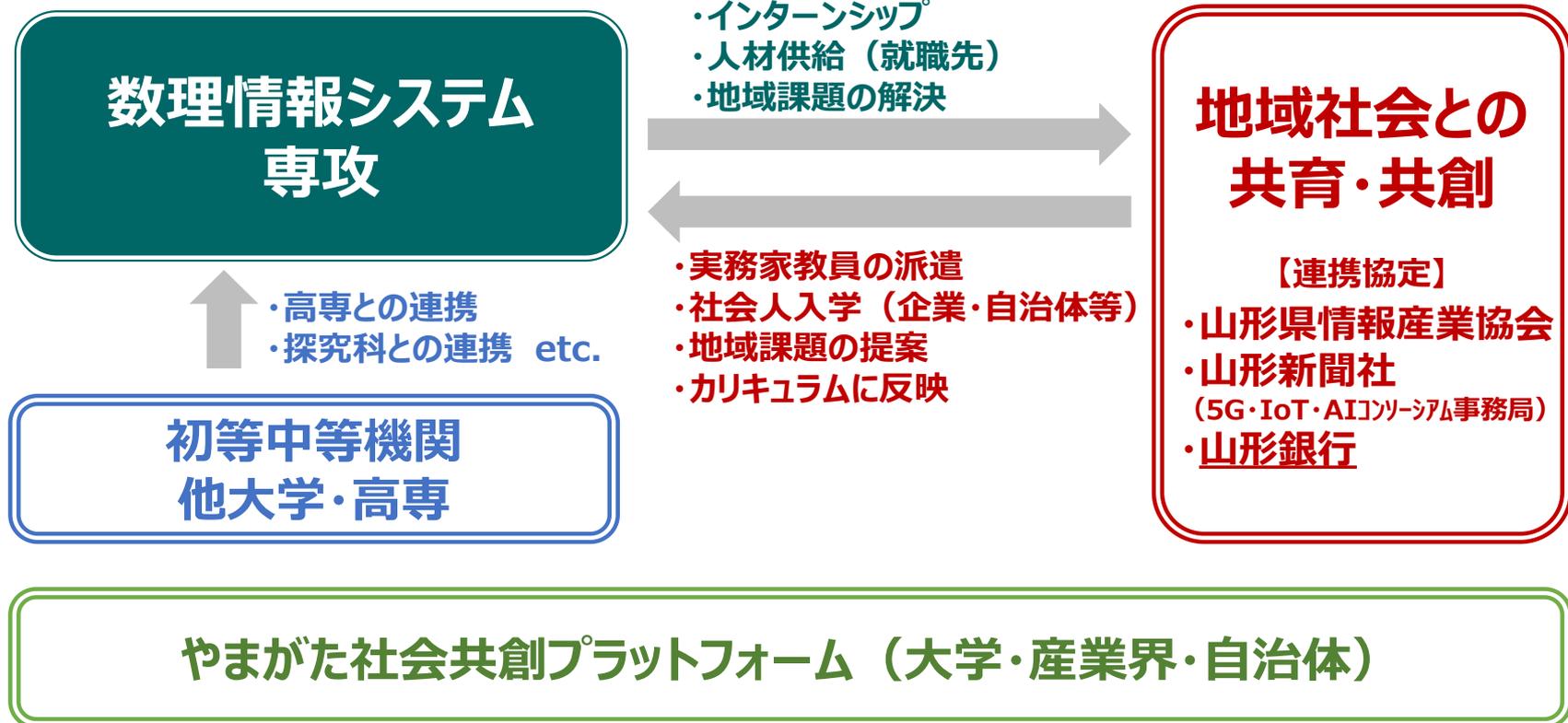


情報・
エレクトロニクス専攻
(米沢)

学内の情報の知を総結集し、情報に特化した新たな専攻を設置

地域との共育・共創で育てるデジタル人材

地域の企業・自治体等と連携した実践的教育で、デジタル人材の地域定着をすすめる



令和6年（2024年）10月3日

欧州5カ国の大学とスマート農林業のための交流を強化します ～文部科学省「大学の世界展開力強化事業」に採択～

【本件のポイント】

- 農学部・農学研究科からの申請が、文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」（EU諸国との大学間交流形成支援）に採択された。採択は全国で9件のみ。
- ドイツ、イタリア、スペイン、ブルガリア、ルーマニアの計6大学とダブルディグリープログラムを構築し、そのネットワーク化を目指す。
- スマート農林業の先端技術が研究されている西欧の大学、その技術を必要とする東欧の大学の双方との交流を通じて、国際共同研究が展開される。



【概要】

農学部・農学研究科が申請していた「スマート農林業のためのダブルディグリープログラム網の構築」が、文部科学省の令和6年度公募事業「大学の世界展開力強化事業」に採択された。今年度を含めた5年間の事業で、事業規模は1480万円/年。既存のドイツおよびイタリアの大学とのダブルディグリー（DD）プログラムに加えて、新たに、スペイン、ブルガリア、ルーマニアの大学とのDDプログラム（修士課程）を構築し、山形大学を中心に、スマート農林業をテーマとするDDプログラムのネットワーク化を行う。DDプログラムでは、本学学生を相手国大学に派遣するとともに、欧州の学生を本学で受け入れる。それぞれ最低1年間の滞在を義務付ける。プログラム参加学生は、本事業から渡航費の支援が受けられる上に、留学中はJASSOから奨学金が支給される。農学部学生の動機付けのために、英語能力向上を図るための英語講座を開講する他、相手国大学への留学経験も積むことができる短期派遣事業も実施する。DDプログラムに参加できるのは農学研究科修士課程の学生のみであり、その入学試験（12月5日）の出願期間は10月22日～24日。詳細については下記の問い合わせ先まで。

【背景】

山形大学大学院農学研究科では、これまでライプニッツ・ハノーヴァー大学（ドイツ）およびトリノ大学（イタリア）とのダブルディグリー（DD）プログラムを構築してきた。この実績を活かし、さらに欧州の4大学とのDDプログラムを構築することで、山形大学を中心として欧州5カ国6大学を巻き込むDDプログラムのネットワーク化を行う。このネットワークはスマート農林業をテーマとし、AIを使ったスマート農林業の先端技術が研究されている西欧の大学だけでなく、その技術を必要とする東欧の大学との交流を深めることが目的である。

山形大学では、2022年度にアグリフードシステム先端研究センターが発足し、データにもとづく農業・畜産技術、食品の機能性のある化とその向上技術などの研究が進められている。本年度には農山村リジェネレーション共創研究センターも発足し、データにもとづく効率的な森林管理に関する研究が予定されている。これらのリソースを利用しながら、本交流プログラムの核心となるAIを農林業に応用する国際共同研究を展開する。

【取組内容】

- スペイン、ブルガリア、ルーマニアの大学とのDDプログラムを順次構築する。そのために、相手国大学との間で教員や事務職員の交流を行う。
- 既存のDDプログラム、および、新たに構築されるDDプログラムでは、本学学生を相手国大学に派遣するとともに、相手国大学の学生を本学で受け入れる。それぞれ最低1年間の滞在を義務付ける。
- DDプログラム参加に支障がないように、本学学生の英語能力向上を図るための英語講座を開講する。

お問い合わせ

鶴岡キャンパス事務部学務課国際室

TEL 0235-28-2847/2827 メール yu-nogaku-ryug@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

- サマー（ウインター）スクールと呼ばれる短期派遣・受入事業を実施し、留学経験を通じて、本学および相手国大学の学生の中から DD プログラム参加者を増やす。
- オンラインでの授業配信も行い、渡航できない学生の交流を活性化する。また、プログラムの認知度を高める。
- オンライン交流会を開催し、各大学の教員による講演の他、DD プログラム参加学生からの報告等を行う。

【今後の展望】

本学では、留学経験者、受け入れ留学生がともに増え、国際化が促進される。DD プログラムの学生は、本学と相手国大学の教員が共同で指導するため、その成果をもとに国際共著論文が増える。ネットワークのハブとして機能する山形大学のプレゼンスが高まることで、ネットワーク外からも優秀な留学生が集まる拠点を目指す。

令和6年度大学教育再生戦略推進費
「大学の世界展開力強化事業」
～EU諸国等との大学間交流形成支援～

スマート農林業のための ダブルディグリープログラム網の構築

Network of double-degree programs for smart agriculture and forestry

事業者	： 玉手英利	学長
事業責任者	： 村山秀樹	副学長（国際交流担当）
実施責任者	： 渡部 徹	農学部長・農学研究科長

（2024～2028年度，14,800千円／年）

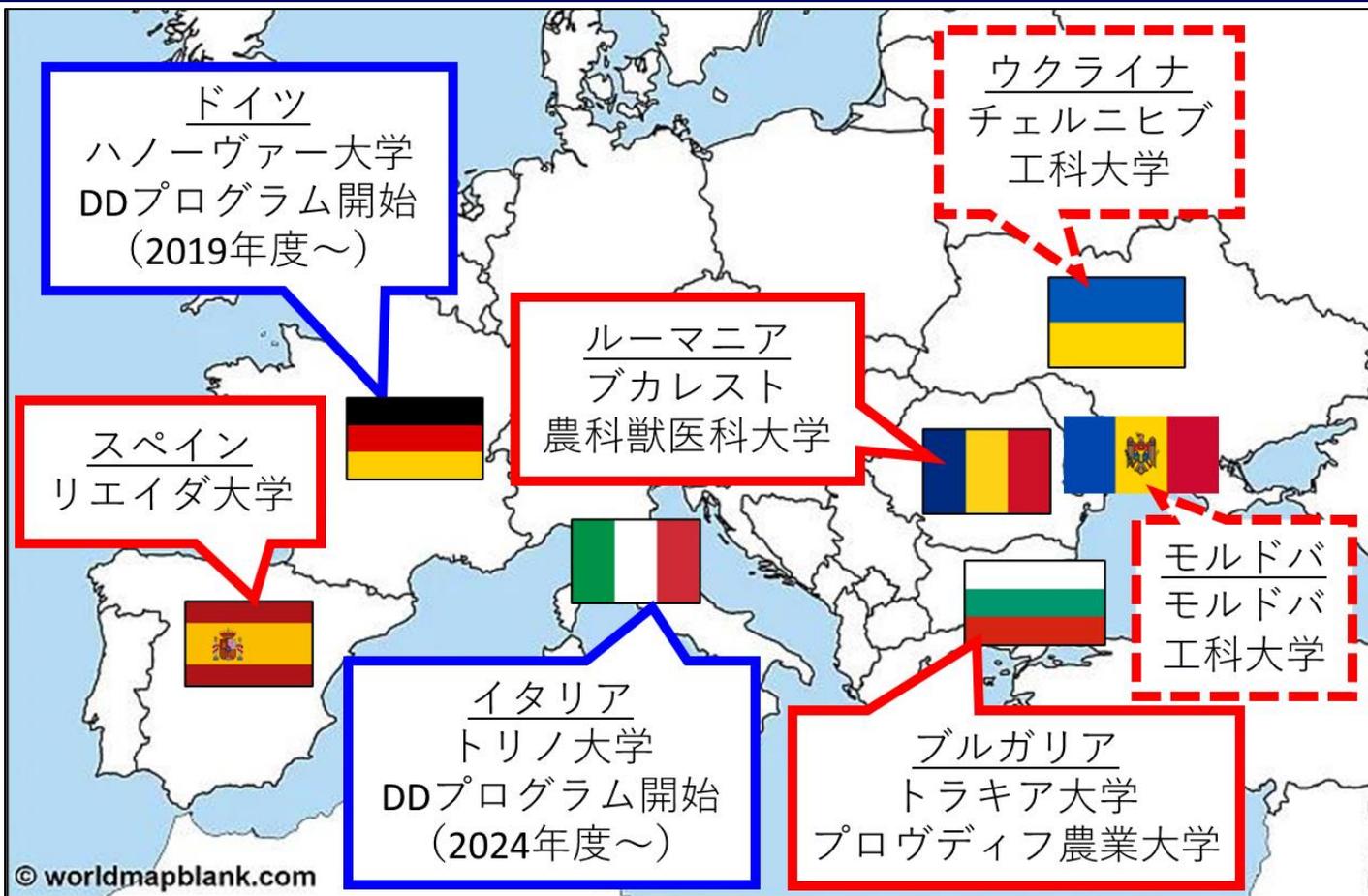
山形大学（農学研究科修士課程）とドイツおよびイタリアの大学とのダブルディグリー（DD）プログラムの実績



東欧も含めた欧州5カ国6大学とDDプログラムを構築し、**山形大学を中心としたDDプログラムのネットワーク化**



AIを使ったスマート農林業の先端技術が研究されている**西欧の大学だけでなく**、その技術を必要とする**東欧の大学との交流を実現**



※ウクライナとモルドバについては、独自で交流を行う。

欧州の中でも農業が盛んなブルガリアでは、事業責任者の村山がー昨年、同国の大統領、日本大使に面会。農業分野での教育研究への協力について直接要請を受けた。



交流プログラムの内容

①短期の学生交流

夏は欧州（山形大学の学生が対象）、冬は日本（欧州の学生が対象）で短期学生交流を実施。**DDプログラムへの参加を促進。**



日本

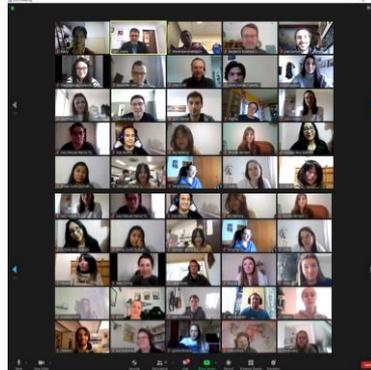


イタリア

ダブルディグリープログラムの実施

②オンライン講義

参加大学間で多様なオンライン講義を実施。山形大学では15の講義科目が英語で提供されており、それをオンデマンド配信。



JV-Campusの積極利用

③長期の学生交流

DDプログラム参加学生を日欧の教員が共同で研究指導を行い、それを通じた**国際共同研究を展開**。研究成果に関する**国際シンポジウムを開催**。

国際共著論文の増加

山形大学の教育研究リソース

- アグリフードシステム先端研究センター：データにもとづく環境保全型農業，食品機能開発
- 農山村リジェネレーション共創研究センター：データにもとづく持続可能な森林管理技術開発
- データサイエンス教育研究推進センター：AIを含むデータサイエンス教育を提供



養成する人材像

- AIに関する基礎知識を身に付け，その知識を農林業に関わる研究に応用できる人材
- 山形大学が得意とする環境保全型農林業をベースとしたスマート農林業を理解している人材
- 各国の課題を正しく理解し，自身が学んだ知識や技術で課題解決に取り組むことができる人材

地域住民と留学生の交流，小中高校での外国語学習や異文化交流，労働力不足の解消といった地域のニーズに，本交流プログラムに参加する留学生，それを支える留学生サポーター（農学部の日本人学生）がお手伝いします。お気軽にご相談ください。

留学生サポーター制度による学内外での国際交流の活性化

国際交流料理イベント



庄内浜伝道師講座

10月6日(日)には，馬見ヶ崎川河川敷において「やまがた横断国際交流事業：庄内・村山食べ比べ芋煮会」を開催します(既報)。

小中高校への留学生派遣

山形県立致道館高等学校



同校のSSH事業(英語を使う活動)に全面協力。

酒田市立泉小学校



3年生の交流活動。酒田市国際交流サロンからの依頼。

DOUBLEDGREE

DOU

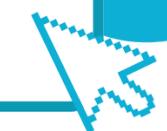
山形大学大学院農学研究科
ダブルディグリー
プログラム

GREE

DOU

GREE

山形大学農学部学務課国際室



DOUBLEDGREE

ダブルディグリープログラム
とは

修士課程の2年間で

- ・ 山形大学
- ・ 海外の協定大学

2大学の学位取得

を目指すプログラム



プログラムの例

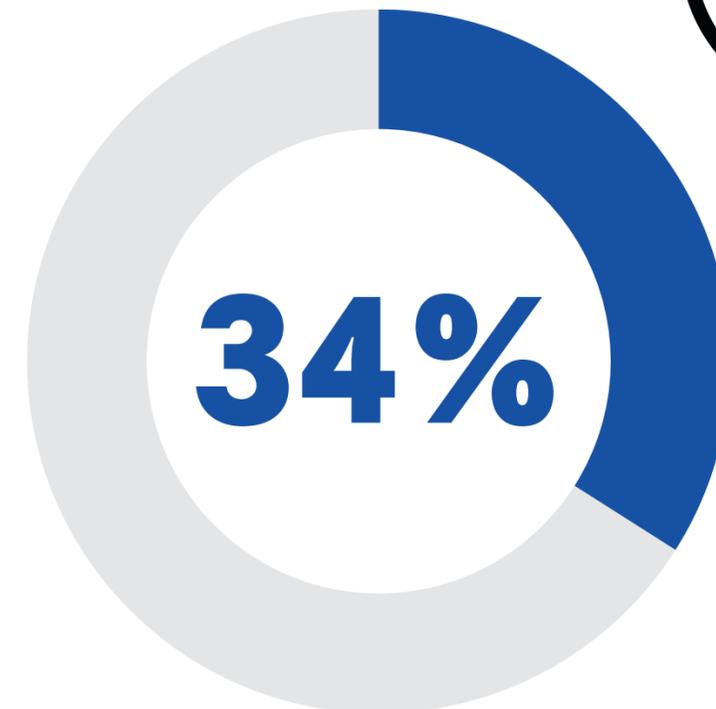
■ ハノーヴァー大学のダブルディグリープログラムに参加した場合（例）



■2028年度までの金銭的サポート

1. 海外滞在中の奨学金 80,000円×12ヵ月
2. 渡航費補助130,000円
3. 往路航空券代（大学が手配）

→120万円程度の補助



自己負担は
3分の1程度

『若い頃の自分に『〇〇はやっておけ』と伝えたいこと』

- 1位 『外国語を学ぶ』
- 2位 『海外旅行』
- 3位 『人脈を広げる』

→全部、
ダブルディグリープログラムで
叶います！



一生モノの 経験を。

大学院修士課程で、
『海外留学』に挑戦してみませんか？

学生でいられる時間は、
長いようで、とても短い。

人生を変える2年間で、
ダブルディグリープログラムが叶えます。

ダブルディグリープログラム

- 対象校 | ライプニッツ・ハノーヴァー大学（ドイツ）
トリノ大学（イタリア）*1
- 留学期間 | 1年間
- 対象学生 | 山形大学大学院農学研究科 入学予定者
大学院入学後の参加も可能*2
- 出願期間 | 大学院入試出願時 or 12月末
(翌4月参加開始の場合)
- 参加条件 | TOEIC L&R 700点以上 *3
書類審査、面接審査あり

Yamagata Univ. Graduate School of Agricultural Sciences

〒997-8555
山形県鶴岡市若葉町1-23
yu-nogaku-ryug@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
<https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/>



*1 2025年4月時点。2026年度以降スペイン、ブルガリア、ルーマニアの大学にも対象校を拡大予定。

*2 入学後の参加の場合、参加時点から2年間在籍する必要があります。

*3 2024年10月現在

ココがすごい

修士課程の
2年間で
山形大学と海外協定大学
2つの学位
の取得を目指す！

2025年4月時点の協定大学
・ハノーヴァー大学（ドイツ）
・トリノ大学（イタリア）

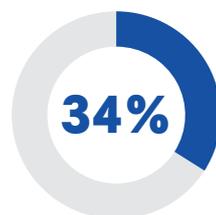


UNIVERSITÀ
DI TORINO

*2026年度以降スペイン、ブルガリア、ルーマニアの大学にも対象校を拡大予定。

滞在中の奨学金
渡航費補助など
**留学費用の
手厚いサポート**

学費はそのまま。
奨学金月額80,000円
往路航空券は大学負担



留学費用が
約3分の1に!

英語クラス開講
TOEIC受験料補助など
**学部在学中から
語学サポート**

*山形大学生のみ対象

語学に不安がある人も
強力バックアップ！



学部長からのメッセージ

急速に進む国際化社会の中で、日本の大学の学位だけで安心できますか？そして、大学卒の学歴で十分ですか？みなさんならもっと出来る。ダブルディグリープログラム、是非挑戦してください。

令和6年（2024年）10月3日

サステイナブル社会実現のための新規テキスタイル開発への挑戦 ～成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業）での開発～

【本件のポイント】

- 米沢市の東北整練株式会社を中心に、本学が連携機関となり、山形県工業技術センター、(公財)やまがた産業支援機構とともにセルロースナノファイバー(CNF)を使った繊維の補強技術を利用して繊維製品の脱石油化を進める研究開発を行います。
- CNFを使った繊維の補強技術は世界で初めて開発されました。(右図) この技術を使った製品については、すでに上市されていますが、自然素材を原料とした繊維製品への置き換えにより SDGsを実現するとともに、化学繊維を上回る性能を目指します。
- 山形県内の産学官が連携して、CNF加工技術の性能を最大限に引き出すことができるプロセス技術を開発します。

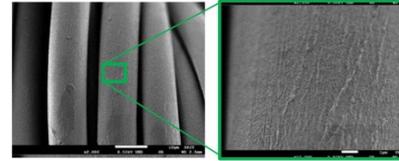


図 12 繊維に付着した CNF



図 13 CNF 加工の効果

【概要】

米沢市の東北整練株式会社を中心に、本学が連携機関となり、山形県工業技術センター、(公財)やまがた産業支援機構で申請しました令和6年度「成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）」に経済産業省より採択されました。テーマは「サステイナブル社会実現のための CNF によるテキスタイル改質技術開発」です。東北整練株式会社が開発した、新規技術である CNF を使った繊維製品の補強技術を用いて、SDGs の実現に向けて自然素材を原料とした繊維製品への置き換えを目指した研究を行います。特に山形大学では、工学部の松葉教授が中心となり大型放射光施設である NanoTerasu（宮城県仙台市）や SPring-8（兵庫県佐用町）を利用した研究開発を進め、CNF を使った繊維製品の補強技術のさらなる発展を目指します。

【背景】

繊維産業の二酸化炭素排出量は世界の総排出量の 6%を占められています。二酸化炭素の排出を削減し持続可能な社会 (SDGs) を達成するには、リサイクルやリユースなどを進めていく一方で繊維生産量の 70%を占める石油を由来とする化学繊維の削減も進める必要があります。ただ、繊維製品である衣服は実用品であるとともに嗜好品である側面を持っているため、単純にサステイナブルであるだけでは、石油製品からの置き換えは難しく、サステイナブルであることに加えて、消費者が満足し、着心地が良く、既存の衣服と同等 (以上) の性能を持って、リーズナブルな製品を供給する必要があります。

【研究手法・研究成果】

東北整練株式会社で開発された CNF を用いた繊維加工技術を使って作製された再生セルロースからなる布は、既存の布に比べて防縮性や濡れたときの破れにくさなどが向上していますが、濡れたときの色移りが化学繊維に比べてまだ改善の余地があります。これまでの予備研究で繊維の周りを CNF がくるんでいるということがわかっていますが、なぜくるまれるのか、どのようにすればより効率的にくるむことができるのかが明らかになっていません。そこで、山形大学 (松葉教授) が有する精密構造解析技術を利用して、CNF と繊維の間に働く相互作用を明らかにして、くるまれるプロセスを明らかにします。その中で、この度、宮城県仙台市の東北大学にできた NanoTerasu (ナノテラス) や大型放射光施設の SPring-8(スプリングエイト、兵庫県佐用町)を使います。

お問い合わせ

学術研究院教授 松葉 豪 (有機材料システム)

TEL 0238-26-3053 メール gmatsuba@yz.yamagata-u.ac.jp

【今後の展望】

山形県の産官学が連携して、全く新しい繊維材料の開発を行います。サステイナブルであり、しかも、消費者が満足し、着心地が良く、既存の衣服と同等（以上）の性能を持って、リーズナブルな製品を山形発の衣服として売り出すことで地域貢献を達成することが期待されます。

※用語解説 本文中の難しい専門用語やプロジェクトの説明等はまとめて記載

1. テキスタイル：布製品や織物などいわゆる布からできているものを表しています。
2. セルロースナノファイバー（CNF）：植物の細胞壁の主成分であるセルロースをナノレベルまで微細に解きほぐしたもの。鋼鉄の 1/5 の軽さで、鋼鉄の 5 倍以上の強度を有している。
3. NanoTerasu（ナノテラス）：宮城県仙台市の東北大学青葉山新キャンパスに 2024 年 4 月に竣工した新しい大型放射光施設。非常に強く感度の高い X 線などのビームを使って、物質の内部や分子・原子などを精密に調べることができる。
4. SPring-8（スプリングエイト）：兵庫県佐用町にある大型放射光施設。世界で最強クラスの X 線を使って材料の構造や内部を調べることができる。



山形大学
Yamagata University

サステイナブル社会実現のための CNFによるテキスタイル改質技術開発

東北整練株式会社
山形県工業技術センター
国立大学法人山形大学
(公財) やまがた産業支援機構

サステナブル社会実現のためのCNFによる テキスタイル改質技術開発 東北整練株式会社（山形県）

令和6年度 経済産業省
成長型中小企業等研究開発支援
事業（Go-Tech事業）

【背景】繊維産業・アパレル産業の脱石油化は非常に大きな課題である。石油由来化学繊維の置き換えのため、東北整練によって開発された「セルロースナノファイバー（CNF）」を使用した新規繊維加工技術を用いる。

【取り組み内容】本基盤技術であるCNFの繊維被覆手法を利用して、天然繊維・再生セルロース繊維の加工手法の発展を図る。化学繊維に大きく近づけ、自然素材原料にした繊維製品への置き換えの促進を図る

【最終目標】実際に製品化可能なCNF加工手法を開発するために、CNF分散液、加工手法の改善に取り組み、量産性のある試作品を完成させて、トップブランドへの採用を目指す。

CNF処理による寸法安定性の向上



研究開発体制

事業管理機関：

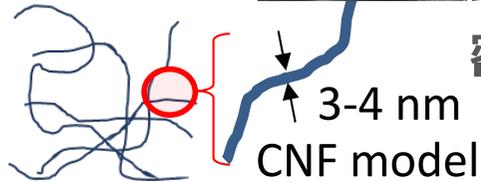
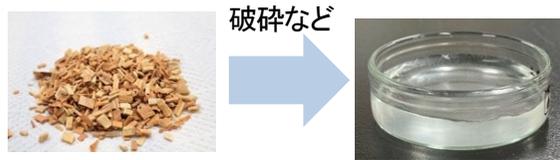
公益財団法人やまがた産業支援機構
(連絡先電話番号：023-647-3163)

東北整練株式会社
国立大学法人山形大学
山形県工業技術センター

新規加工繊維の特徴

Cellulose nanofiber (CNF)

セルロースを破砕などの処理で
ナノスケールまで粉碎したもの



CNFの特性：
鉄より5倍位強い
密度は10%程度

再生セルロース繊維（キュプラなど）

天然セルロースの化学処理で生産

再生セルロースの特性：

絹のような触感、質感

低防縮性・低引裂強度

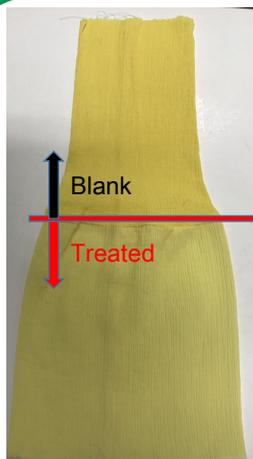
→洗濯機による水洗不可

→市場が限定



東北整練・山形県工業技術センター・山形大学と共同で材料開発

東北整練が持つ染色技術を利用して、CNFを用いた繊維加工に成功



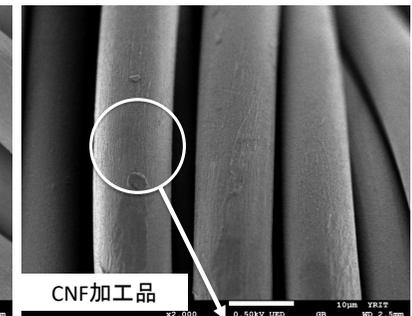
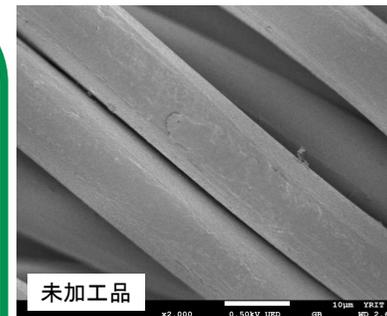
- 洗濯機で水洗後の防縮性の向上
- 引裂強度が1.2-1.5倍上昇
- 再生セルロースの持つ触感、質感は維持

→ 新たな繊維改質方法として期待

→ 特許：特開2021-116490



内部・表面構造と物性との相関の解明



表面の「シワ」
→CNFの可能性

本事業での目標

しかしながら…。

→量産化に向けていくつかの課題

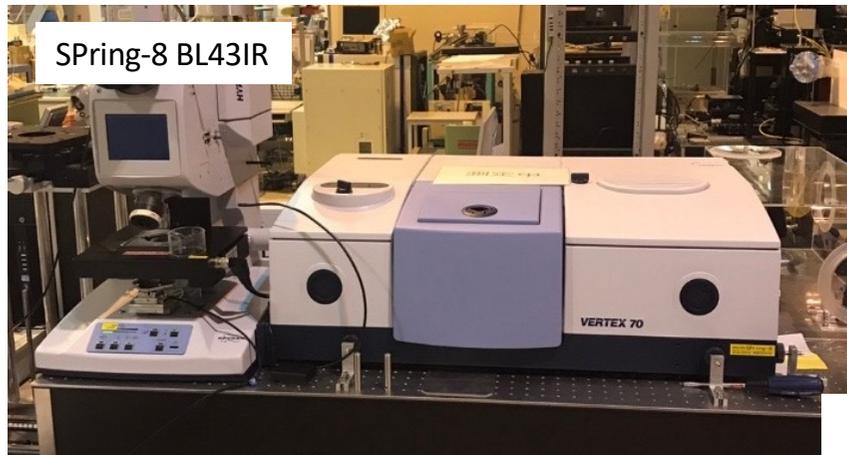
- 溶液の分散手法の効率化
- 染色加工条件の最適化
- 種々のテキスタイル材料への展開

これらのことを明らかにするには**原子・分子レベルからマクロスケールまでの構造変化**を評価する必要

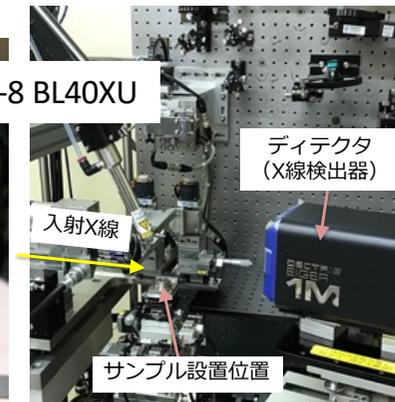
山形大学で行うこと

○ テキスタイル、繊維表面・内部の構造の評価

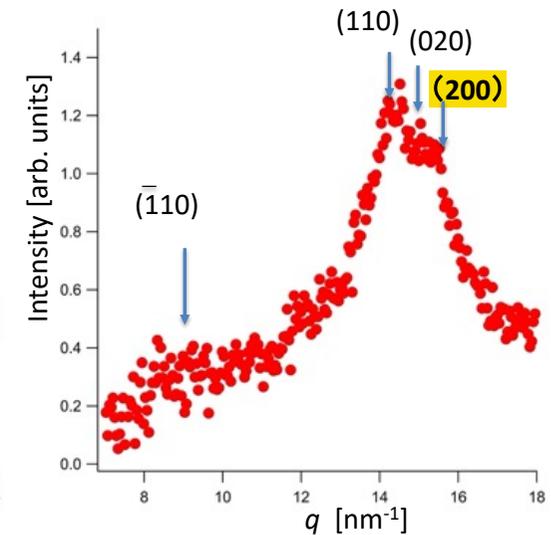
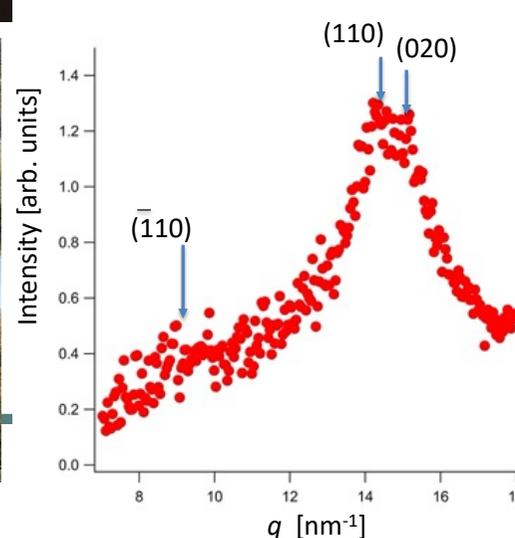
そのためには…学内だけでなく、NanoTerasuやSPring-8など大型施設での評価を実施



未加工品 (再生セルロース)



CNF加工品





令和6年（2024年）10月3日

山形大学オリジナルマイボトルを販売 ～学生と山形大学生協による共同作製～

【本件のポイント】

- 山形大学生協で山形大学オリジナルマイボトルを販売します。
- 山形大学オリジナルマイボトルは基盤共通教育科目「YU empowering with SDGs～ローカルSDGsの実践～(学際)」を受講した学生が山形大学生協と共同で作成しました。
- カラーはベージュ、ライトブルー、ブラックの三色あり、山形大学生協小白川コンビニ店Ciel(シエル)や各キャンパス購買書籍店で販売します。



【概要】

山形大学では、本学のSDGsに関連する教育・研究と、山形県内の企業・自治体における先進的なSDGsの実践を学ぶことによって、“自分ごと”としてSDGsを捉え、行動できるようになることを目的として基盤共通教育科目「YU empowering with SDGs～ローカルSDGsの実践～(学際)」を開講しています。

本授業では、受講生がグループに分かれて、まとめとしてSDGsに関するアクションプランを発表しており、今回、紺野 ひめか(医学部看護学科1年) 佐藤 凧紗(工学部建築・デザイン学科1年) 鈴木 沙英子(医学部医学科1年) 吉田 有梨子(人文社会科学部人文社会科学科グローバル・スタディーズコース1年)のグループとYU-SDGsパートナーである山形大学生協が共同で山形大学オリジナルマイボトル作製し、2024年10月7日から販売することとなりました。

オリジナルマイボトルは、10月7日から山形大学生協小白川コンビニ店Ciel(シエル)や各キャンパス購買書籍店で販売するほか、10月26日・27日に開催される八峰祭においても販売する予定です。是非、ご購入ください。

カラーバリエーション：3色(ベージュ、ライトブルー、ブラック) 容量：370ml
価格(税込み)：1,980円

【背景】

本年度開講した「YU empowering with SDGs～ローカルSDGsの実践～(学際)」では22名の学生が受講し、山形県内における優れたSDGsの取組として、飯豊町・レインボープラン推進協議会・櫻井建設・山形新聞・ネットヨタ・食のカコーポレーション・女性応援NPO Sisterhoodから多種多様な観点から学修しました。その成果として、各グループが行動計画を策定し、最終回の講義で発表しました。併せて、各自の行動計画をレポートにまとめました。

マイボトル作製を計画したグループは大学構内のペットボトルゴミ箱が満杯になりがちな点に着目し、山形大学生協でひと月に販売されたペットボトルの本数などから、9,000本以上のペットボトルが消費されていると想定されることから、ペットボトルの削減を目標に、マイボトル作製に着手しました。

【今後の展望】

アンケート調査(令和6年7月実施)により山形大学生の6割程度はマイボトルを活用しているものの、給水できる場所がなく、給水できるウォーターサーバーの設置希望が多数あることを踏まえ、大学と共同でウォーターサーバーの設置を検討していきます。

お問い合わせ

社会共創推進事務室(SDGs担当)

TEL 023-628-4497 メール yu-sdgs@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和6年（2024年）10月3日

枠に捉われない学び | JUHYOプログラム ～空きコマを活用した学びから学生の魅力を引き出す～

【本件のポイント】

- JUHYOプログラムは、山形大学データサイエンス教育研究センターが開発・運用している、空きコマを活用しデータ解析力、デジタル利活用力などを養う教育プログラムです。今回、新しく2つのコースを企画し、参加学生を募集します。
- (1) **データデザイン思考力 実践コース** [協力パートナー | MathWorks]
夏季の気象条件が原因とされる地域課題（さくらんぼの双子果）を題材に、ユーザーの視点に立ち、原因解明や対策方法のためのデータ解析 & 可視化方法を習得する講座と、後半には実データを用いてデータ思考力と表現力を実践的に養います。
- (2) **デジタルマーケティング力 実践コース** [協力パートナー | 縁と縁]
山形の農業の新たな価値創生について、新たに開発する西洋ナシの商品を題材にSNSマーケティングの基礎と実際を学んだ上で、西洋ナシの商品をSNS発信する表現力を実践的に養います。



【概要】

山形大学データサイエンス教育研究センター（YUDS）では、データサイエンスおよびデジタルスキルを活用できる人材育成を目指し、オンデマンドやオンラインで提供するデータサイエンス教材の開発と運営を行ってきました。今後は、単なる教材提供に留まらず、学内・社会に向けてDSを学ぶ意欲や価値を理解いただける教育プログラム開発にも注力しています。JUHYOプログラムは、YUDSで開発している比較的新しい教育プログラムの一つです。このプログラム名には、蔵王山の自然環境が樹氷を少しずつ成長させ、気がつけば人々を魅了する美しい造形を生み出すように、山形大学の教育環境が学生を少しずつ成長させ、魅力的な人材を育てていくという思いが込められています。今回、各学生が専門分野の枠に捉われずに、空きコマなどの自由な時間に参加できる柔軟な学習機会を提供し、データサイエンスを実際に体感しながら学ぶことができる教育プログラム「**データデザイン思考力 実践コース**」と「**デジタルマーケティング力 実践コース**」を実施します。このプログラムを通じて、学生のDSやデジタル利活用力のスキルとセンスUPを行い、未来を担うデータサイエンス人材の育成に取り組んでいきます。今後は、地域の皆様が受講したり、また講師として、ご参画いただいたりする講座に発展させ、地域の方と学生がフラットに教え合える場として発展させていきます。地域の皆様から、講師を募集させていただきますので、気軽にお声がけください。

【コースの概要】

(1) データデザイン思考力 実践コース [協力パートナー | MathWorks]

- 【募集期間】 2024年10-11月
- 【実施内容】 11月 データ可視化のための基礎講座（担当：学生講師 及び MathWorksによる講習）
12月 実践課題 [さくらんぼの双子果の原因解明や対策方法のためのデータ解析 & 可視化]
1月 発表会 & 表彰式
- 【実施日程】 参加者の空きコマ等の都合の良い時間
- 【対象】 山形大学生（定員10名程度）
- 【受講料】 無料

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

[申込方法&詳細] <https://yuds.kj.yamagata-u.ac.jp>より

(2) **デジタルマーケティング力 実践コース** [協力パートナー | 縁と縁]

[募集期間] 2024年10-11月

[実施内容] 11月 SNSマーケティングのための基礎講座 (担当：縁と縁)

12月 実践課題 [西洋ナシの商品等のSNS発信]

1月 発表会&表彰式

[実施日程] 参加者の空きコマ等の都合の良い時間

[対象] 山形大学生 (定員10名程度)

[受講料] 無料

[申込方法&詳細] <https://yuds.kj.yamagata-u.ac.jp>より

【主催】 山形大学データサイエンス教育研究推進センター (YUDS)

【協力パートナー】 MathWorks社 (数学的計算ソフトウェア開発)
縁と縁 (商品開発・販売、イベント企画・運営)

本プログラムは、山形大学校友会支援事業および山形大学「つなぐちから。」社会共創推進プロジェクトの支援により実施させていただきます。

お問い合わせ

山形大学データサイエンス教育研究推進センター

TEL：023-628-4977 メール：yu-derp-info@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

目的やユーザのニーズに合わせてグラフ描画する力を養う

データデザイン思考力 コース

SNS発信に必要な基礎スキル

SNSマーケティング コース

1月

思案・表現してみよう

発表会&表彰式

それぞれの学びの成果やプロセスを発表会で表現・共有し、お互いにスキルUP!

データサイエンスセンター公認の優秀賞等を授与します。キャリア活動に役立ててください。

11月

基礎を学ぼう



ーデータデザイン思考力コースー
データ可視化基礎講座



ーデータデザイン思考力コースー
データデザイン コンテスト

SNS

ーSNSマーケティング コースー
SNSマーケティング基礎講座

SNS

ーSNSマーケティング コースー
デジタルマーケティング
コンテスト

データデザイン思考力コース

目的やユーザーに合わせてデータを解析・可視化する基礎スキルを養います

実施内容

11月 データ可視化のために基礎講座

- (1) グラフ描画等の基本講座 (MATLABの基本操作習得)
- (2) 魅せるグラフ作り講座 (MathWorksによる講習会)

12月 データデザイン コンテスト



夏季の気象環境(高温)が原因の一つと考えられている「さくらんぼの双子果」をテーマに、ユーザー視点からのデータ解析・可視化に挑戦します

SNS

SNSマーケティングコース

目的やユーザーのニーズを引き出し、SNS発信に必要な基礎スキルを養います

実施内容

11月 SNSマーケティングのための基礎講座

- (1) SNS発信のための準備講座 (講師担当 縁と縁)
- (2) SNSを活用したマーケティング講座 (講師担当 縁と縁)

12月 デジタルマーケティング コンテスト



様々なアプローチから発信されてきた西洋ナシをテーマに、新規開発した西洋ナシの商品の魅力をSNS発信に挑戦します

1月 発表会&表彰式



空きコマを活用して受講しよう

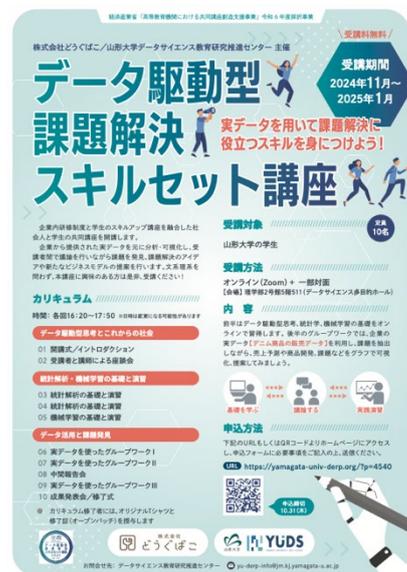
- 申込期間 | 10月1-31日
- 対象 | 本学学生 (各コース 定員10名程度、先着順)
- 実施日程 | 参加者の空きコマ等の都合の良い時間
- 受講料 | 無料! *2コース同時に受講できません
- 申込 | YUDS HPより <https://yuds.kj.yamagata-u.ac.jp>

令和6年（2024年）10月3日

今年も開催決定！「データ駆動型課題解決スキルセット講座」 ～企業研修と学生の主体的な学びをつなぐ新たな価値創生～

【本件のポイント】

- （株）どうぐばことデータサイエンス教育研究推進センター（YUDS）が協働で、企業内研修制度と学生のスキルアップ講座を融合した社会人と学生の共同講座「データ駆動型課題解決スキルセット講座」を開講します。
- 全10回のプログラムで構成し、オンライン形式（一部対面）で行います。前半はイントロダクションと座談会の後、基礎的な統計学・機械学習のスキルを習得します。後半は、山形県の温泉組合から提供された実データを元に受講者はニーズに合わせて分析・可視化し、データの関連性や意味を深掘りし、新たな価値創生や気付いていなかった課題や手がかりの発見を目指します。
- 受講対象者は企業の社会人と、本講座に興味を持つ本学の学生（文系理系を問わず）。カリキュラムを修了した受講者には修了証を授与します。



【概要】

AI・デジタル技術の発展により日本の産業構造が急速に変化するなか、企業の持続的な成長・経済活動を維持するためには、収集・分析したデータから新たな価値を見出し、データを元に意思決定を行う思考力（データ駆動型思考）と、周囲と協力しながら課題解決に導くことのできるスキルを有する人材の育成が急務です。

（株）どうぐばこと山形大学データサイエンス教育研究推進センターが、社内、学内教育に関する課題や悩みについて議論を行いました。本学の数理・データサイエンス・AI教育における課題の一つは、本学の優れた講義群をサポートし、より実践的なスキルアップへと導くセミナーや企画が少ないことにありました。学生のキャリアに対する講義の位置付けを学生自身が認識する機会が必要です。一方で、山形県内の多くの企業は中小企業であり、生成系 AI の登場や発注元企業のシステム内製化による受注減が危惧されています。これまでの受託開発中心のビジネスモデルからの転換、地域に根差した新しい顧客開拓が求められるなか、産業分野を問わずデータ駆動型思考力とデータ活用スキルを持った人材の養成が必要です。今回、両者の課題と目標が合致し、協働開発による「データ駆動型課題解決スキルセット講座」の開設に至りました。

本講座では、企業から提供された実データを元に分析、可視化して課題を発見し、そこから新たなアイデアや価値を見出す思考を養います。データ駆動型思考による、データ分析の実践演習を行いながら、社会人と大学生が協働で課題を解決するためのスキルセットを学びます。さらに、互いに議論を行いながら学習を進めることで、新たなアイデアの創発が期待されます。

今回は、山形県内の温泉組合のご協力のもとに、宿泊者数、温泉利用者数などの実データを利用し、それらデータを他のデータと紐付けなど深掘りし、新たな価値創生や見えなかった課題を浮き彫りに挑戦します！

本講座をとおり、社会人のリスキリングやDX 活用人材の増加に貢献するとともに、学生の社会に対する関心を引き出し、キャリアアップにつなげることで、複雑な課題を抱えた地域社会に対応できる人材の育成を促進します。

【講座の内容】（1コマ=90分）

- ① **データ駆動型思考とこれからの社会** [オンライン（一部対面）]
- | | | |
|-----|---------------|-------|
| 第1回 | 開講式／イントロダクション | 11月上旬 |
| 第2回 | 受講者と講師による座談会 | 〃 |

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

② **統計解析・機械学習の基礎と演習** [オンライン（一部対面）]

第3、4回	統計解析の基礎と演習	11月中旬
第5回	機械学習の基礎と演習	11月下旬

③ **データ活用と課題発見** [オンライン（一部対面）]

第6～9回	実データを使ったグループワーク	12月上旬～
第10回	成果発表会／修了式	1月中旬

【講師】

- ・脇 克志（理学部 教授） | データ解析など
- ・奥野 貴士（理学部 教授） | データ共有、デザイン思考など

【講座の概要】 ※詳細は後日公開されるチラシおよびYUDSのホームページでご確認ください。

[期間]	2024年11月から2025年1月まで全10回
[開催形式]	オンライン形式（一部対面）
[対象]	企業・山形大学生
[受講料]	無料
[詳細]	https://yuds.kj.yamagata-u.ac.jp

【主催】

株式会社どうぐばこ
山形大学データサイエンス教育研究推進センター（YUDS）

【事業名】

経済産業省「高等教育機関における共同講座創造支援事業」令和6年度採択事業

～共同講座への参画を希望する企業の皆様へ～

本学では、今後も企業と学生の共同講座を企画して参ります。ご興味のある企業・団体のご担当者様は下記までお問合せください。

お問い合わせ 山形大学データサイエンス教育研究推進センター TEL：023-628-4977 メール：yu-derp-info@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

受講料無料

株式会社どうぐばこ/山形大学データサイエンス教育研究推進センター 主催

受講期間

2024年11月～
2025年1月

データ駆動型

課題解決

スキルセット講座

実データを用いて課題解決に
役立つスキルを身につけよう!

企業内研修制度と学生のスキルアップ講座を融合した社会人と学生の共同講座を開講します。

企業から提供された実データを元に分析・可視化し、受講者間で議論を行いながら課題を発見、課題解決のアイデアや新たなビジネスモデルの提案を行います。文系理系を問わず、本講座に興味のある方は是非、受講ください!

受講対象

大学生、大学院生、一般

定員
10名

受講方法

オンライン (Zoom) + 一部対面

【会場】理学部2号館5階511 (データサイエンス多目的ホール)

内容

前半はデータ駆動型思考、統計学、機械学習の基礎をオンラインで習得します。後半のグループワークでは、企業の実データ【温泉宿泊者に関するデータ】を利用し、課題を抽出しながらデータをグラフ等で可視化し、企業・地域課題解決の提案してみましょう。



カリキュラム

日程: 水曜日 16:30～18:00 ※日時は変更になる可能性があります

データ駆動型思考とこれからの社会

- 01 開講式/イントロダクション 11/ 6(水)
- 02 受講者と講師による座談会 11/13(水)

統計解析・機械学習の基礎と演習

- 03 統計解析の基礎と演習 11/20(水)
- 04 統計解析の基礎と演習 11/27(水)
- 05 機械学習の基礎と演習 12/ 4(水)

データ活用と課題発見

- 06 実データを使ったグループワークI 12/11(水)
- 07 実データを使ったグループワークII 12/18(水)
- 08 中間報告会 12/25(水)
- 09 実データを使ったグループワークIII 1/ 8(水)
- 10 成果発表会/修了式 1/15(水)

● カリキュラム修了者には、修了証(オープンバッジ)とオリジナルTシャツを授与します

申込方法

下記のURLもしくはQRコードよりホームページにアクセスし、申込フォームに必要事項をご記入の上、送信ください。

URL <https://yuds.kj.yamagata-u.ac.jp>



申込期間
10月1～31日



お問合せ先: データサイエンス教育研究推進センター

yu-derp-info@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和6年（2024年）10月3日

企画展「伊佐早謙—琉球・沖縄史料のまもりびと」を開催します ～附属図書館（中央図書館）で10/8（火）～12/8（日）まで～

【本件のポイント】

- 本学附属図書館で所蔵する、旧林泉文庫に残る「琉球・沖縄史料」を展示紹介する。林泉文庫は、山形県師範学校（本学地域教育文化学部の前身）でも教鞭をとった、伊佐早謙（1858～1930）が収集した蔵書である。
- 本展示は、同期間に開催される、国立歴史民俗博物館企画展示「歴史の未来—過去を伝えるひと・もの・データ」展にあわせて企画。同展には、附属図書館所蔵の「北燕游草」「林世功遺稿」の2点が展示。
- 太平洋戦争で焦土と化した沖縄でも現存しない史料が、本学附属図書館に所蔵されている。その貴重な史料とその来歴を、紹介展示する。



伊佐早謙（1858-1930）

【概要】

今年度より、国立歴史民俗博物館 課題設定型基盤研究「「地域アーカイブ」の形成過程と郷土史家の役割に関する総合的研究」（研究代表・小幡圭祐准教授）が始まり、「地域アーカイブ」の歴史の変遷や郷土史家たちの史料収集過程におけるさまざまな役割を考察する共同研究を進めている。なかでも、山形の郷土史家伊佐早謙（1858-1930）が収集した膨大な蔵書群である「林泉文庫」の全容を解明することは、その研究に大きく寄与すると考えられる。本学附属図書館では、1955（昭和30）年頃に購入した「林泉文庫」旧蔵の和漢書を1,255部以上所蔵している。長いあいだ未整理のままで、和書や漢籍の一部が調査されたものの、いまだ全体の目録がなく一部の利用にとどまっていた。現在、上記共同研究のメンバーによって悉皆調査・整理と目録作成を進めている。これまでの整理過程で見つかった、琉球・沖縄史料を中心とする特筆すべき貴重書を展示紹介する。

【開催期間】

2024（令和6）年10月8日（火）～12月8日（日）

平日：8:45-21:00、土日祝日：11:00-18:00（図書館開館日、開館時間に準じます。）

詳細は中央図書館 HP 開館カレンダーをご覧ください：<https://www.lib.yamagata-u.ac.jp/yktop/>



開館カレンダーはこちら

【開催場所】

山形大学附属図書館（中央図書館）カウンター前

【展示資料（予定）】 *すべて本学附属図書館所蔵資料

1. 「林泉文庫寄贈書及書目」：伊佐早の没後に、その蔵書を上杉家に寄贈するにあたり作成された目録。
2. 「琉球史料目録」：沖縄県立図書館所蔵の郷土資料の分類目録。伊佐早が調査に訪れた時期に作成された。
3. 「言上書写」：道光30年（1850）、清朝への進貢と同治帝即位の慶賀使節に命じられた久米村の士族、毛有増が記した公務日記。
4. 「大清道光二十七年時憲書」：清朝の欽天監が作製した暦で、琉球に賜与されたもの。朱墨二色刷り。
5. 「録集 呈文」：琉球の公文書を作成するための手引き書。明治政府が進める「琉球処分」に抵抗して自害した林成功の実兄林世勲の旧蔵本、表紙に「鄭徳懋」とある。

【主催】 山形大学附属図書館

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

【共催】 国立歴史民俗博物館 課題設定型基盤研究「「地域アーカイブ」の形成過程と郷土史家の役割に関する総合的研究」

【後援】 山形大学附属博物館 山形大学人文社会科学部

【同時開催】

オンデマンド講座「エクステンションぷらすα 伊佐早謙—琉球・沖縄史料のまもりびと」

〈開催概要〉

上記展示にあわせて、山形大学エクステンションサービス推進本部ではオンデマンド講座を開催します。

- ・ 配信時期：2024年10月21日（月）～12月13日（金）予定
- ・ 講座内容：全3回：（1回60分）
 - ① 新宮学名誉教授「近代山形最初の郷土史家、伊佐早謙の仕事」
 - ② 石黒志保講師 「伊佐早謙が守った「林泉文庫」の行方」
 - ③ 新宮学名誉教授「郷土史家伊佐早謙と林泉文庫—「知」のまもりびとの軌跡」
- ・ 受講方式：オンデマンド配信
- ・ 受講料：3,000円（全3回）
- ・ 主催：山形大学エクステンションサービス推進本部（YEX）
- ・ 申し込み：<https://yex.kj.yamagata-u.ac.jp/rinsen.html>



お申し込みはこちら

お問い合わせ

学術研究院 講師 石黒志保 人文社会科学部/エクステンションサービス推進本部
TEL 023-628-4241 メール ishiguro@human.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学附属図書館 企画展

伊佐早謙

— 琉球・沖縄史料のまもりびと —

2024年 10月8日(火)～12月8日(日)

山形大学附属図書館(中央図書館)カウンター前

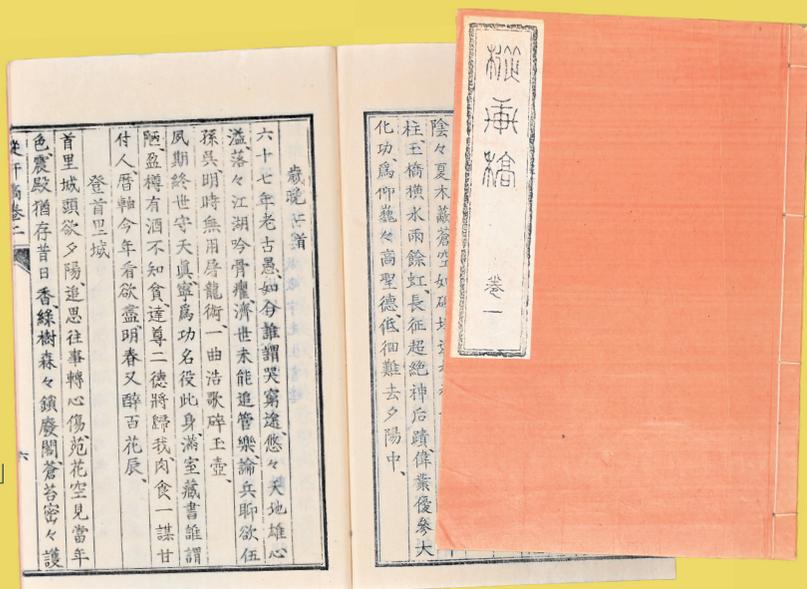
* 図書館開館日、開館時間に準じます。

入場無料

【主催】山形大学附属図書館
【共催】国立歴史民俗博物館 課題設定型基盤研究「地域アーカイブ」
の形成過程と郷土史家の役割に関する総合的研究
【後援】山形大学附属博物館 山形大学人文社会科学部

【お問合せ】山形大学人文社会科学部 石黒研究室
電話 | 023-628-4241 E-mail | ishiguro@human.kj.yamagata-u.ac.jp

伊佐早謙の漢詩集「樞軒稿」、1926(大正15)年刊
「登首里城」



【同時開催】

オンデマンド講座「エクステンションぶらすα 伊佐早謙—琉球・沖縄史料のまもりびと」

上記展示にあわせて、山形大学エクステンションサービス推進本部ではオンデマンド講座を開催します。

- ・ 配信時期：2024年10月21日(月)～12月13日(金) 予定
- ・ 受講方式：オンデマンド配信 ・ 受講料：3,000円(全3回)
- ・ 講座内容：全3回(1回60分) 申込メ切：12月8日(日)

- ① 新宮学 山形大学名誉教授 「近代山形最初の郷土史家、伊佐早謙の仕事」
- ② 石黒志保 山形大学人文社会科学部講師 「伊佐早謙が収集した「林泉文庫」の行方」
- ③ 新宮学 「郷土史家伊佐早謙と林泉文庫—「知」のまもりびとの軌跡」



お申込はこちらから

主催：山形大学エクステンションサービス推進本部 (YEX) お申し込み <https://yex.kj.yamagata-u.ac.jp/rinsen.html>
お問合せ 山形大学エクステンションサービス推進本部 電話 | 023-628-4779 E-mail | yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

企画展 伊佐早謙—琉球・沖縄史料のまもりびと—

本学附属図書館では、1955(昭和30)年頃に購入した「林泉文庫」旧蔵の和漢書を1,255部以上所蔵しています。「林泉文庫」は、山形県師範学校(本学地域教育文化学部の前身)でも教鞭をとった、伊佐早謙(1858~1930)が収集した蔵書です。本学附属図書館所蔵の「林泉文庫」は、長いあいだ未整理のまま、和書や漢籍の一部が調査されたものの、いまだ全体の目録がなく一部の利用にとどまっています。現在、悉皆調査・整理と目録作成を進めていますが、これまでの整理過程で見つかった、琉球・沖縄史料を中心とする特筆すべき貴重書を本展で紹介。太平洋戦争で焦土とした沖縄でも現存しない史料が、本学附属図書館に所蔵されています。ぜひ、その貴重な史料とその来歴をご覧ください。

伊佐早謙(1858-1930)：米沢藩御小納戸組の家に生まれ、藩校興譲館の提学であった片山弦斎の下で漢学や歴史を学び、山形県師範学校、私立米沢中学校で教鞭をとる。また、上杉家記録編纂所の総裁、第二代米沢図書館長として、晩年まで上杉家や東北・米沢の歴史資料の収集に尽力した。

1924(大正13)年、第二代沖縄県令であった上杉茂憲(1844-1919、米沢藩第13代藩主)の事績調査のため沖縄を訪問し、蔡大鼎(1823-没年不詳)や林世功(1842-80)旧蔵の琉球漢詩文の史料を持ち帰る。太平洋戦争で焦土とした沖縄の貴重な史料が、「林泉文庫」に残されることになった。

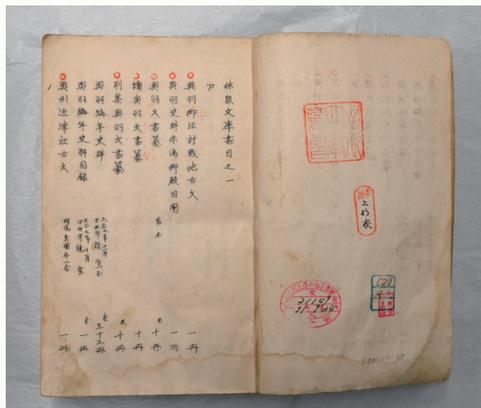


伊佐早謙 個人蔵

展示資料 すべて山形大学附属図書館所蔵



「林泉文庫寄贈書及書目」：伊佐早の没後に、その蔵書を上杉家に寄贈するにあたり作成された目録。



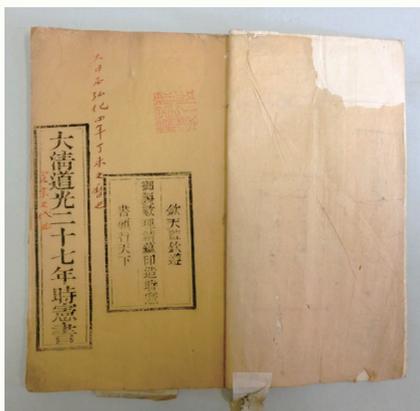
「琉球史料目録」

沖縄県立図書館所蔵の郷土史料の分類目録。伊佐早が調査に訪れた時期に作成された。



「言上書写」

道光30年(1850)、清朝への進貢と同治帝即位の慶賀使節に命じられた久米村の士族、毛有増が記した公務日記。

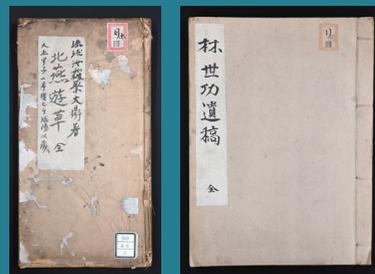


「大清道光二十七年時憲書」

清朝の欽天監が作成した暦で、琉球に賜与されたもの。朱墨二色刷り。

企画展示
歴史の未来
—過去を伝えるひと・もの・データ—
2024.10.8 ▶ 12.8
国立歴史民俗博物館 企画展示室A・B
国立歴史民俗博物館
National Museum of Japanese History

【同時開催】国立歴史民俗博物館 企画展示
「歴史の未来—過去を伝えるひと・もの・データ—」
2024年10月8日(火)～12月8日(日)
※会期中、一部展示替えを行います。
国立歴史民俗博物館 企画展示室A・B
(〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117)
開館時間：9:30～16:30(入館は16:00まで)
入館料：一般1000円(800円) 大学生500円(400円)
※()内は20名以上の団体料金
※高校生以下入館無料
休館日：毎週月曜日(休日にあたる場合は開館し、翌日休館)



本学附属図書館所蔵の「北燕游草」「林世功遺稿」(林泉文庫旧蔵)が展示されます!

詳しくは、下記のページをご覧ください。 https://www.rekihaku.ac.jp/event/2024_exhibitions_kikaku_mirai.html

令和6年（2024年）10月3日

山大アルファ化米粉レシピコンテスト2024の開催 ～山大アルファ化米粉を使ったレシピを考えて応募しよう～

【背景】「山大アルファ化米粉レシピコンテスト」の開催について、お知らせいたします。このコンテストは学生が主体となり2015年の第1回から2019年の第5回まで開催されてきましたが、2020年からはコロナ禍で中止を余儀なくされました。コロナ禍の間は、YouTubeのコンテンツを充実させ、X（旧ツイッター）での情報発信に取り組んできました。この度「山大アルファ化米粉レシピコンテスト2024」として本コンテストを再開するに至りました。

山形大学の西岡昭博教授（大学院有機材料システム研究科）が開発したAmorfast®技術は、粉碎時の温度制御により澱粉を瞬時にアルファ化でき、米などの澱粉を主成分とする穀物に付加価値を与えられる製造法です。本技術から得られるアルファ化米粉を「山大アルファ化米粉」と名付け、その普及の一環として学生が中心となり「山大アルファ化米粉レシピコンテスト」を企画・開催します。山大アルファ化米粉を増粘剤として用いることで、これまで不可能とされてきた米粉100%の製パンを実現させ、小麦粉を全く含まないシュークリーム、クッキーなどの開発に成功してきました。



【本コンテストの概要】書類審査で選ばれた応募者が、本選でレシピを競い合います。本レシピコンテストは西岡研究室に所属する学生が自ら組織した「アルファ化米粉ひろめ隊」が主催・運営を務めます。レシピの応募締切が10月15日（火）です。多くのご応募をお待ちしております。なお、本レシピコンテストは学生チャレンジコンテストの支援を受けています。また、山形大学発ベンチャー企業の（株）アルファテックが採択を受けています農林水産省中小企業イノベーション創出推進事業の一環として実施するものです。

行事名：山大アルファ化米粉レシピコンテスト2024

レシピ応募締切：10月15日（火）17:00

本選日時：2024年12月7日（土）13:00～17:00

本選開催場所：DEN'S HOTEL Yonezawa（山形県米沢市中央1-13-3）

主催：山大アルファ化米粉ひろめ隊、山形大学認定先端フードテクノロジー研究グループ（AFTEC）、山形大学アグリフードシステム先端研究センター（YAAS）、株式会社アルファテック（山形大学発ベンチャー企業）

後援：山形大学、山形県立米沢栄養大学、山形県、山形県教育委員会、米沢市、米沢工業会

URL: <https://cisweb.yz.yamagata-u.ac.jp>

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

お問い合わせ

学術研究院 教授 西岡昭博、香田智則（有機材料システム研究科）

TEL 0238-26-3066, 090-1493-5683

令和6年(2024年)10月3日
山形大学

* 詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 大学生を応援するオンラインチャリティーイベント「Giving Campaign 2024」を開催します

山形大学では、学生の研究活動や課外活動の応援・支援を目的に、学生団体による活動資金調達を行うイベント「Yamagata University Giving Campaign 2024」を10月11日（金）から20日（日）まで開催します。本イベントは、全国100大学でも実施いたします。

2. やまがた共創塾 経営者向け人材育成セミナー・シンポジウムの開催について

企業の成長を支えるのは「人材」です。成功する企業は、単なるスキルアップに留まらず、社員一人ひとりのポテンシャルを最大限に引き出す教育に力を入れています。

このセミナー・シンポジウムでは、先進的な取り組みを行う県内企業がどのように人材育成を実践し、企業全体の成長に繋げているのかを学びます。

さらに、このセミナー等を通し、“オール山形”のプラットフォームである「やまぶら」の枠組みを最大限活用し、山形県内におけるリカレント教育の促進を図ります。

3. 社会人向け「地図を使ったデータビジュアライゼーション」を開講します ～エクステンションぷらすα×やまがた共創塾～



現代社会では、様々なデータが日々生まれ、活用されています。皆さんの身の回りにも、様々なデータが溢れています。こうしたデータは「可視化」することで新しい発見があります。そこで本講座では、まず身の回りのデータやその可視化手法について、その必要性を理解すると共に、多様な活用方法を事例を基に学び、実践していきたいと考えています。最終回では、自分で選んだデータを実際に地図化するワークショップを行います。データの可視化を通して、身の回りの地域について改めて考えてみませんか。

4. 山大生が地元企業の若手社員を取材・情報発信～Instagram「働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業」第5弾～

若年層における山形県村山地域での就職・定住への関心を高めるため、学生が村山地域の企業で活躍する若手社員を取材し、山形県村山地域で働くことの良さ、暮らすことの良さ等を、学生の視点から紹介した記事を2020年度からInstagramで発信しています。

2024年度は人文社会科学部・地域教育文化学部・工学部の学生32名が分担して企業17社に訪問します。8月から取材を開始し、若手社員に対してインタビューを開始し、村山地域の企業の魅力や働きやすさ、暮らすことの良さを聞き取りました。また10月以降、企業を紹介する短時間動画を作成します。

取材記事は10月8日から順次、Instagram（アカウント @yamagata.work_life）に掲載を開始しますので、ぜひご覧ください。

5. サクソフォン奏者 芳賀大峰による公開セミナーを開催～サクソフォンの多彩なレパートリー～

山形大学地域教育文化学部では、2017年度より、主に山形交響楽団との連携による地域創生事業として公開レッスンや演奏会等を開催してまいりました。

通算13回目となる今回、本学部で学生の指導にあたっているサクソフォンの芳賀大峰とピアノの三輪部による初の公開セミナーを開催いたします。

スイスのルツェルン音楽大学大学院で学び、とりわけバロック音楽と現代即興音楽の研究と演奏に携わってきた芳賀大峰による、やさしい音色も派手な音色も出すことのできるサクソフォンの魅力を、地域のみならずにもぜひ味わっていただきたく企画いたしました。

曲間にはレクチャートークも行う予定です。

6. 研究者×料理人×企業家で考える 私と社会にとっての“よく食べる”



SHONAI Well-eating Day 『食と農×山形×アカデミア』で世界を救う！産学連携イノベーション展示会を開催します。

先端食研究・技術を料理人の手でおいしく食べられる形にして発信し、社会課題解決に資する新しい食資源についてのビジネスプレイヤーの中での理解促進と社会実装の推進を目指します。

なお、メディア向けのイベントとして12:00より研究紹介など行う予定です。

7. 令和6年度第1回山形大学農学部 研究シーズ説明会

農学部では日頃の研究成果を地域社会に発信するために『農学部研究シーズ集』を作成しており、この度山形大学農学部研究シーズ説明会を開催します。シーズ (seeds = 種) とは、新たな産業を生み出す種や芽となる研究、事業化が見込まれる開発研究のことです。すぐに共同研究に結びつかなくとも、農学部で行っている研究活動を皆様に知っていただけるだけでもありがたいと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

8. 山形大学フットサル大会を10月26日(土)に開催します～学部の垣根を越えた交流を目指して～

農学部では、山形大学校友会支援事業として、山形大学フットサル大会を10月26日(土)に鶴岡キャンパス体育館にて開催します。本支援事業としては、2012年以降、今回で11回目(2012年～2019年ビーチサッカー大会、2020年～2021年コロナ禍で中止、2022年～2023年フットサル大会)となります。

フットサルを通じて、学部・学科・学年の垣根を越えて学生同士がつながる機会になることを目指します。

9. 知られざる山形の希少食材の味を作り出す タンパク質の未知に迫る

ひらめき☆ときめきサイエンスー「知られざる山形の希少食材の味を作り出す タンパク質の未知に迫る」イベントを開催します。

10. サイエンスカフェ「研究者、魚醤と出会う」

サイエンスカフェ2024「研究者、魚醤と出会う」を開催します。

令和6年（2024年）10月3日

大学生を応援するオンラインチャリティーイベント 「Giving Campaign 2024」を開催します

【本件のポイント】

- 学生の研究活動や課外活動の応援・支援を目的に、学生団体による活動資金調達を行うイベント「Yamagata University Giving Campaign 2024」を10月11日（金）から20日（日）まで開催します。
- キャンペーン期間中に獲得した応援数を参考に、パートナー企業により各団体に寄付されます。
- 山形大学の学生団体・サークルへの応援をよろしくお願いいたします。



【概要】

山形大学では、学生の研究活動や課外活動の応援・支援を目的に、学生団体による活動資金調達を行うイベント「Yamagata University Giving Campaign 2024」を10月11日（金）から20日（日）まで開催します。本イベントは、全国100大学でも実施いたします。

Giving Campaign は、2021年に始まったオンラインイベントで、今回が5回目の開催になります。参加する学生団体は、イベント期間中自らの活動についてSNSやOBOGネットワークに発信し、応援と寄付を募ります。

本イベントの特徴は、支援のハードルが低く、誰でも気軽に参加できることです。従来のクラウドファンディングとは異なり、「応援票」を送ることも学生の支援に繋がります。特設サイトを通じて、お手持ちのスマートフォンからその場で投票を行うことができ、1大学につき1団体に投票することが可能です。

参加学生団体は、この応援票を集めることでGiving Campaignを支えるパートナー企業から活動資金を受け取ることができます。応援票を獲得すればするほど、活動資金を受け取るチャンスは増えます。また投票後、団体に直接寄付を届けることも可能です。

【概要】

- 実施期間：2024年10月11日（金）9:00～10月20日（日）21:00
- 主催：山形大学
- 後援：文部科学省
- 運営：株式会社 Alumnote（アルムノート）
- 山形大学 Giving Campaign ページ：<https://yamagata.2024.giving-campaign.jp/>
- Giving Campaign 特設ページ：<https://www.giving-campaign.jp/>
- Giving Campaign 公式 SNS や PR 動画まとめ：<https://linktr.ee/giving.campaign>

【お問い合わせ】

- 主催 山形大学へのお問い合わせ
 - 担当：国立大学法人山形大学総務部総務課社会共創推進事務室
 - Email：yu-kikin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
 - TEL：023-628-4497
- 運営 株式会社 Alumnote へのお問い合わせ
 - 広報 田中、川西
 - Email：pr@alumnote.com
 - TEL：03-3837-5050

お問い合わせ

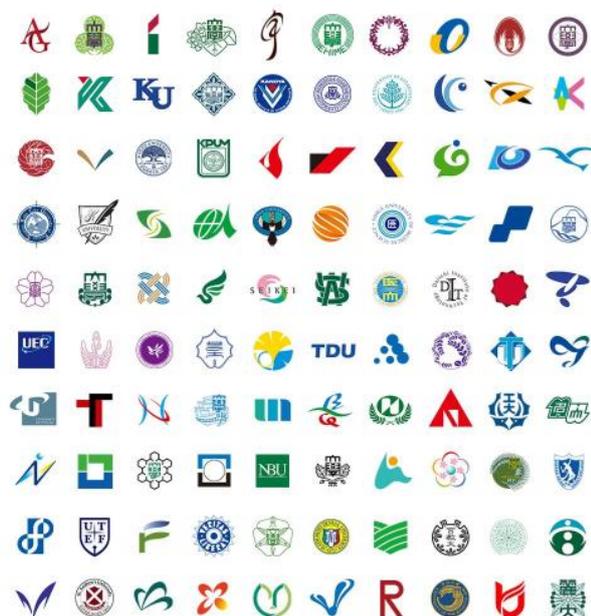
国立大学法人山形大学総務部総務課社会共創推進事務室

TEL 023-628-4497 メール yu-kikin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学は、全国100大学で開催される学生による資金調達イベントGiving Campaign 2024に参加します。

学生の研究活動や課外活動を応援・支援！

スマートフォンから、誰でも簡単に学生の支援が可能です！



山形大学では、学生の研究活動や課外活動の応援・支援を目的に、学生団体による活動資金調達を行うイベント「Yamagata University Giving Campaign 2024」を10月11日（金）から20日（日）まで開催します。本イベントは、全国100大学でも実施いたします。

Giving Campaignは、2021年に始まったオンラインイベントで、今回が5回目の開催になります。参加する学生団体は、イベント期間中自らの活動についてSNSやOBOGネットワークに発信し、応援と寄付を募ります。

本イベントの特徴は、支援のハードルが低く、誰でも気軽に参加できることです。従来のクラウドファンディングとは異なり、「応援票」を送ることも学生の支援に繋がります。特設サイトを通じて、お手持ちのスマートフォンからその場で投票を行うことができ、1大学につき1団体に投票することが可能です。費用は完全無料です。

参加学生団体は、この応援票を集めることでGiving Campaignを支えるパートナー企業から活動資金を受け取ることができます。応援票を獲得すればするほど、活動資金を受け取るチャンスは増えます。また投票後、団体に直接寄付を届けることも可能です。寄付は1,000円から行うことができ、クレジットカードやApple Payがご利用いただけます。

Giving Campaignの仕組み



Giving Campaign 2024参加大学（計100大学）

北海道/東北エリア	関東エリア	中部エリア
<ul style="list-style-type: none">秋田大学岩手大学帯広畜産大学北見工業大学国際教養大学東北大学東北芸術工科大学函館大学	<ul style="list-style-type: none">茨城大学宇都宮大学大妻女子大学桜美林大学神奈川大学群馬大学芝浦工業大学実践女子大学成蹊大学	<ul style="list-style-type: none">愛知学院大学金沢大学岐阜大学公立諏訪東京理科大学静岡大学信州大学富山大学豊橋技術科学大学長岡技術科学大学長野大学
近畿エリア	中国/四国エリア	九州・沖縄エリア
<ul style="list-style-type: none">大阪教育大学関西大学京都大学京都工芸繊維大学京都府立医科大学神戸学院大学神戸市外国語大学神戸女子大学神戸女子短期大学	<ul style="list-style-type: none">愛媛大学高知大学島根大学徳島大学鳥取大学鳴門教育大学広島大学山口県立大学山口大学山口東京理科大学	<ul style="list-style-type: none">大分大学鹿児島大学鹿児島体育大学北九州市立大学九州工業大学九州産業大学熊本学園大学熊本県立大学熊本大学佐賀大学

地域ごとに50音順

その他参加大学に関しては、イベント特設サイトをご覧ください。
多くの皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願いいたします。

Yamagata University Giving Campaign 2024

- 実施期間：2024年10月11日（金）9:00～10月20日（日）21:00
- 主催：山形大学
- 後援：文部科学省

- 運営：株式会社Alumnote（アルムノート）
- 山形大学 Giving Campaignページ：<https://yamagata.2024.giving-campaign.jp/>
- Giving Campaign特設ページ：<https://www.giving-campaign.jp/>
- Giving Campaign公式SNSやPR動画まとめ：<https://linktr.ee/giving.campaign>

お問い合わせ

- 主催 山形大学へのお問い合わせ
 - 担当：国立大学法人山形大学総務部総務課社会共創推進事務室
 - Email：yu-kikin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
 - TEL：023-628-4497
- 運営 株式会社Alumnoteへのお問い合わせ
 - 広報 田中、川西
 - Email：pr@alumnote.com
 - TEL：03-3837-5050

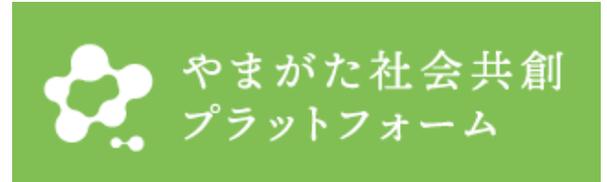
PRESS RELEASE

令和6年10月3日

やまがた共創塾 経営者向け人材育成セミナー・シンポジウムの開催について

【本件のポイント】

- 10/30（水）やまがた社会共創プラットフォーム（※）主催の経営者向け教育プログラムオンラインセミナーを開催。
- 引き続き、県内4地区（11/14置賜(米沢)、11/22最上(新庄)、11/28庄内(鶴岡)、12/2村山(山形)）でシンポジウムを開催。
- 県内企業等で活躍する経営者等を招へいし、“オール山形”で山形県内におけるリカレント教育を推進。



【概要】

企業の成長を支えるのは「人材」です。成功する企業は、単なるスキルアップに留まらず、社員一人ひとりのポテンシャルを最大限に引き出す教育に力を入れています。
このセミナー・シンポジウムでは、先進的な取組みを行う県内企業がどのように人材育成を実践し、企業全体の成長に繋げているのかを学びます。
さらに、このセミナー等を通し、“オール山形”のプラットフォームである「やまぶら」の枠組みを最大限活用し、山形県内におけるリカレント教育の促進を図ります。

【開催日時・会場】

■（第1回）経営者向け教育プログラム オンラインセミナー

日時：令和6年10月30日（水）14:00-15:50
場所：山形県立産業技術短期大学校（山形市松栄2丁目2-1）
開催方法：**オンライン実施**（会場でも参加可）



■（第2回）県内4地区開催シンポジウム（すべて対面実施）

- | | |
|--|--|
| ●置賜地区（米沢）
日時：令和6年11月14日（木）14:00-16:00
場所：伝国の杜（米沢市丸の内1-2-1） | ●庄内地区（鶴岡）
日時：令和6年11月28日（木）14:00-16:00
場所：マリカ東館（鶴岡市末広町3番1号） |
| ●最上地区（新庄）
日時：令和6年11月22日（金）14:00-16:00
場所：ゆめりあ（新庄市多門町1-2） | ●村山地区（山形）
日時：令和6年12月2日（月）14:00-16:00
場所：山形国際交流プラザ（山形市平久保100番地） |

講師等詳細は別添チラシをご覧ください。

【申込方法】

下記Formsからお申込みください。（**第一回オンラインセミナーは令和6年10月22日（火）**）

<https://forms.office.com/r/ns9yKn2kLi>

※「やまがた社会共創プラットフォーム（やまぶら）」とは、山形県を含む県内全市町村・11の経済団体等・県内全高等教育機関で構成する地域の課題解決等に取り組むプラットフォームです。

（参考：<https://www.yamagata-u.ac.jp/yamapura/>）

※本セミナーは、文部科学省令和5年度「地域ニーズに応える産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援事業」採択事業の一環です。

（参考：https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/manabinaoshi/mext_00016.html）

お問い合わせ

やまがた社会共創プラットフォーム事務局（総務部総務課社会共創推進事務室内）
TEL 023-628-4615 メール yu-shakaikyousou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

【第1回】 やまがた共創塾 経営者向け人材育成セミナー

参加
無料

経営者向け教育プログラム オンラインセミナー

お申し込みは
こちらから

令和6年 10.30 水



企業の成長を支えるのが「人材」です。成功する企業は、単なるスキルアップに留まらず、社員一人ひとりのポテンシャルを最大限に引き出す教育に力を入れています。このセミナーでは、そんな先進的な企業がどのように人材育成を実践し、企業全体の成長に繋げているのかを学びます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

時間

14:00 - 15:30

14:00 - 15:00(講演)

15:00 - 15:30(取り組み紹介)

対象

どなたでも参加いただけます

会場

オンライン開催

山形県立産業技術
短期大学校(大講義室)

山形県山形市松栄2丁目2-1

※会場でもご参加いただけます。



講師

山形県立産業技術
短期大学校
校長

佐藤 俊一 氏

▶14:00~14:30

人材育成の

新たな取り組みに向けて

山形県立産業技術短期大学校校長。
山形県立山形東高等学校校長、山形大学
エンロールメント・マネジメント部教授を
経て、2023年度より現職。
専門は学校教育、産業教育。



講師

日東ベスト株式会社
常務執行役員
生産本部長

伊藤 浩志 氏

▶14:30~14:45

日東ベストの人材育成への
取り組み(事例紹介)

生産本部長、生産部門(製造工場)の統括
責任者。
研究部、工場勤務、商品&技術開発部門
などを経て、2021年度より生産技術部
長としてデジタル化推進、2024年度より
生産本部長。



講師

山形県産業労働部
雇用・産業人材育成課
課長

高橋 文夫 氏

▶14:45~15:00

山形県における
産業人材育成の取り組み

2023年度(令和5年度)から現職
【雇用・産業人材育成課の主な所管業務】
産業人材育成(職業訓練含む) / 県立職業
能力開発施設 / 若者の就業支援、県内回
帰・定着 / 高齢者、障がい者の就業促進
/ 女性の就業・県内定着 / 働きやすい職場
環境づくり ほか

予告

第2回は県内4地区で対面にて実施

置賜(米沢) 11月14日(木)/14:00~16:00/伝国の社

庄内(鶴岡) 11月28日(木)/14:00~16:00/マリカ東館

最上(新庄) 11月22日(金)/14:00~16:00/ゆめりあ

村山(山形) 12月 2日(月)/14:00~16:00/山形国際交流プラザ

お問い合わせ

やまがた社会共創プラットフォーム事務局(国立大学法人山形大学内)TEL:023-628-4615

※「やまがた社会共創プラットフォーム」とは、令和4年10月に設立した、山形県を含む県内全市町村・11の経済団体等・県内全高等教育機関で構成するプラットフォームです。

文部科学省令和5年度「地域ニーズに応える産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援事業」採択事業

【第2回】

やまがた共創塾

経営者向け人材育成セミナー

県内4地区(置賜、最上、庄内、村山)で実施(講演+パネルディスカッション)

※4地区すべてに参加いただくことも可能です

置賜(米沢)

11.14(木) ▶14:00~16:00



会場 伝国の杜 2階大会議室
日本地下水開発株式会社

講師 代表取締役社長 **桂木 聖彦** 氏

日本地下水開発(株)代表取締役社長 博士(工学)
NPO法人地中熱利用促進協会理事・制度施策部会長
山形県のエネルギー政策に係わる新たな戦略策定委員会策定委員(2011年~)
(公社)日本プロサッカーリーグ [Jリーグ] マッチコミッショナー
(一社)東北サッカー協会会長 NPO山形県サッカー協会会長 (株)モンテディオ山形取締役

講演タイトル Think Globally, Act Locally!
地球規模で考えながら、足元から行動できる人材を育てるために、私たちは何ができるのか?

パネリスト **柴田 孝** 氏
山形大学客員教授
山形県生産基盤強化支援協議会アドバイザー

最上(新庄)

11.22(金) ▶14:00~16:00



会場 ゆめりあ 2階会議室
株式会社ダイユー

講師 代表取締役社長 **八鍬 毅** 氏

大学卒業後、東京大手広告代理店勤務
その他ベンチャー企業として複数の事業活動
その後上海外国語大学大学院卒
2006年 株式会社ダイユー入社
現在も複数の事業を手掛け今に至る

講演タイトル 山形の人材育成の未来を考える
~海外日本人と国内外国人のマインドセット~

パネリスト **村松 真** 氏
尾花沢市教育委員会 教育長

庄内(鶴岡)

11.28(木) ▶14:00~16:00



会場 マリカ東館 第一研修室
佐藤繊維株式会社

講師 代表取締役社長 **佐藤 正樹** 氏

1992年に佐藤繊維に入社し家業を継承
2005年に代表取締役社長に就任
山形県ニット工業組合及び日本ニット工業組合連合会の理事長を務めながら、寒河江市観光物産協会会長にも就任し、地域経済の活性化にも取り組む

講演タイトル 佐藤繊維的「オタク」人材の育成について

パネリスト **前田 直之** 氏
山形県工業会 会長

村山(山形)

12.2(月) ▶14:00~16:00



会場 山形国際交流プラザ 4階中会議室
有限会社舟形マッシュルーム

講師 代表取締役会長 **長澤 光芳** 氏

舟形町観光物産協会 会長
舟形町土地改良区 副理事長
有限会社舟形マッシュルーム 会長
和歌山県 鶴恋野マッシュルーム 取締役

講演タイトル 事業戦略と人材育成への取り組み

パネリスト **矢野 秀弥** 氏
山形商工会議所 会頭

4地区共通

パネリスト

国立大学法人山形大学
大森 桂 氏
副学長(社会共創・広報担当)
学術研究院教授



山形大学の社会共創推進室長の他、やまがた社会共創プラットフォーム戦略会議委員を務める。
地域教育文化学部副学部長、同学部長を経て、2022年度より現職。専門は食教育、家庭科教育。

モデレーター

国立大学法人山形大学
松坂 暢浩 氏
学士課程基盤教育院教授
キャリアサポートセンター長



山形大学学士課程基盤教育院教授、山形大学キャリアサポートセンター長(兼任)。
キャリア教育および就職支援の企画・運営を担当。
専門はキャリア教育、人材育成。博士(学術)。

お問い合わせ やまがた社会共創プラットフォーム事務局(国立大学法人山形大学内)TEL:023-628-4615

※「やまがた社会共創プラットフォーム」とは、令和4年10月に設立した、山形県を含む県内全市町村・11の経済団体等・県内全高等教育機関で構成するプラットフォームです。

文部科学省令和5年度「地域ニーズに応える産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援事業」採択事業

[お申し込みはこちらから](#)



令和6年（2024年）10月3日

社会人向け「地図を使ったデータビジュアライゼーション」を開講します ～エクステンションぶらすα×やまがた共創塾～

【本件のポイント】

- 地図を使ったデータビジュアライゼーションについて、エクステンションサービス推進本部と人文社会科学部附属やまがた地域社会研究所が主催する、社会人を対象としたセミナーです。
- オンデマンド講座では、位置に関する情報を持ったデータについて学ぶほか、可視化や分析を中心とした活用方法への理解を深めます。
- 12月14日（土）には、山形大学小白川キャンパスにてPCを用いた地図作成実習のワークショップを行います。

【概要】

現代社会では、様々なデータが日々生まれ、活用されています。皆さんの身の回りにも、様々なデータが溢れています。こうしたデータは「可視化」することで新しい発見があります。そこで本講座では、まず身の回りのデータやその可視化手法について、その必要性を理解すると共に、多様な活用方法を事例を基に学び、実践していきたいと考えています。最終回では、自分で選んだデータを実際に地図化するワークショップを行います。データの可視化を通して、身の回りの地域について改めて考えてみませんか。

【講座の構成】 ※詳細はチラシおよびホームページでご確認ください。

[オンデマンド講座] *全回見逃し配信あり

<第1回> 2024年11月15日（金）配信

地理空間情報とその可視化 講師 | 本多広樹（人文社会科学部 主担当/専門 人文地理学）
柿崎慎也（人文社会科学部 主担当/専門 技術哲学）

<第2回> 2024年11月22日（金）配信

情報の視覚化とコミュニケーションの関係 講師 | 柿崎慎也

<第3回> 2024年11月29日（金）配信

可視化に基づく地域分析 講師 | 本多広樹

[ワークショップ]

◇PCを用いた地図作成実習 講師 | 本多広樹 柿崎慎也

日時 | 2024年12月14日（土）14時～16時

会場 | 山形大学小白川キャンパス 人文社会科学部棟1号館101教室

【受講いただきたい対象】

- ・ 地域に関するデータの可視化に興味がある方
- ・ オープンデータに関心がある方



配布先：学長定例記者会見参加報道機関

・データを用いたコミュニケーションに関心がある方

【講座の概要】 ※詳細はチラシおよびホームページでご確認ください。

[日時・期間] 2024年11月15日（金）・22日（金）・29日（金）に全3回オンデマンド講座を配信します。
2024年12月14日（土）にワークショップを開催します。

*全3回オンデマンド講座・ワークショップ込みの講座になります。

[受講料] 5,000円（オンデマンド講座・ワークショップ資料代込み）

*お支払い方法は、オンライン決済になります。クレジットカード、コンビニエンスストア、
ペイジー、一部ネットバンキングでのお支払いがご利用いただけます。

*お支払い手数料は、ご自身でご負担ください。

[対象] 一般（高校生以上）

[定員] 20名

[その他] ワークショップでは、Excelが使用できるノートPCが必要となります。
最終レポートを提出した受講者には、修了証の発行があります。

[詳細・申込] <https://yex.kj.yamagata-u.ac.jp/gis2024.html>



お申し込みはこちらから

【主催】 山形大学エクステンションサービス推進本部
山形大学人文社会科学部附属やまがた地域社会研究所

【協力】 やまがた社会共創プラットフォーム

【エクステンションサービス推進本部について】

地域社会のニーズに基づき、大学の幅広い知見を生かした地域社会のための教育を一元的に提供する新組織として、2020年8月1日に発足。社会人のスキルアップや、人生100年時代に需要が高まる生涯教育など、各世代が求める学びの機会をオーダーメイド教育プログラムとして提供していくことを目的としています。

本学が保有する様々な領域の知見を活用し、社会人向けオリジナル講座「エクステンションぶらす」や、全40コマのオンライン講座「多文化共生スキルアップ講座」などを企画してきました。

■山形大学エクステンションサービス推進本部 HP <https://yex.kj.yamagata-u.ac.jp>

【やまがた社会共創プラットフォームについて】

やまがた社会共創プラットフォームは、様々な知的資源を有する山形県内の高等教育機関と、地元の産業界、金融界、医療界、山形県及び県内自治体が密接に連携し、地域の課題解決と新たな価値の創出に取り組み、個人及び地域社会のウェルビーイング（幸福）に貢献し、地域の持続的発展を目指すことを目的に令和4年10月に設立しました。

■やまがた社会共創プラットフォーム HP <https://www.yamagata-u.ac.jp/yamapura/>

お問い合わせ

エクステンションサービス推進本部（石黒・大木）

TEL：023-628-4779 メール：yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

YEX Yamagata University
Extension service
organization

地図を使った データビジュアライゼーション

現代社会では、様々なデータが日々生まれ、活用されています。皆さんの身の回りにも、様々なデータがあふれています。こうしたデータは「可視化」することで新しい発見があります。そこで本講座では、身の回りのデータやその可視化手法について、その必要性を理解すると共に、多様な活用方法を事例を基に学び、実践していきたいと考えています。なかでも、地域の課題を考える上では、様々なデータを地図を使って可視化する、地図上で重ね合わせる事が重要です。データの可視化を通して、身の回りの地域について改めて考えてみませんか。

2024
11/15 (金)
オンデマンド配信

第1回

「地理空間情報とその可視化」

講師：本多広樹 山形大学人文社会科学部
専門：人文地理学
柿崎慎也 山形大学人文社会科学部
専門：技術哲学

〈講座内容〉

現代社会とデータ／さまざまな可視化手法
地理空間情報とは／GISとは

2024
11/22 (金)
オンデマンド配信

第2回

「情報の視覚化と コミュニケーションの関係」

講師：柿崎慎也 山形大学人文社会科学部
専門：技術哲学

〈講座内容〉

視覚的表現としてのデータの重要性
データの可視化によるコミュニケーション促進
行政分野、ビジネス分野、教育分野へのデータの可視化の応用

2024
11/29 (金)
オンデマンド配信

「可視化に基づく地域分析」

講師：本多広樹 山形大学人文社会科学部
専門：人文地理学

〈講座内容〉

地域の課題と可視化／地域分析に用いるデータの入手
データの作成方法／ワークショップに向けた準備

WS
ワークショップ 対面
開催

「PCを用いた地図作成実習」

講師：本多広樹 柿崎慎也

日時 12月14日(土) 14時～16時

会場 山形大学小白川キャンパス
人文社会科学部棟1号館101教室

〈講座内容〉

身の回りの地域について、実際に地図を作成して
改めて可視化してみましょう。

受講形式 第1～3回 オンデマンド配信 *見逃し配信あり
(全3回+WS) ワークショップ 対面開催 *Excelが使えるパソコンをご持参ください

定員 20名 対象 一般 (初心者向け講座 地域に関するデータの可視化に興味がある方)

受講料金 5,000円 お支払いは、オンライン決済になります。クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジー、一部ネットバンキングでのお支払いがご利用できます。

お申し込み

下記のURLもしくは右のQRコードから、パソコン・スマートフォンで申し込み受付ページにアクセスしてください。【申込締切】11/8(金)

<https://yex.kj.yamagata-u.ac.jp/gis2024.html>

お問い合わせ 山形大学エクステンションサービス推進本部

TEL 023-628-4779
Mail yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

YEX Yamagata University
extension service
organization



令和6年（2024年）10月3日

山大生が地元企業の若手社員を取材・情報発信 ～Instagram「働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業」第5弾～

【本件のポイント】

- 若年層の県外流出という山形県の課題解決に向けて、山形大学の学生が、山形県村山地域の企業で活躍する若手社員を取材し、Instagramで情報発信を行う
- 5年目となる今年度は、情報サービス業、製造業、建設業、小売業等の17社を取材対象とし、閲覧者層の拡大を目指す
- 人文社会科学部やまがた地域社会研究所が、山形県村山総合支庁から受託して実施している



学生がエムテックスマツムラ株式会社（天童市）を取材

【概要】

若年層における山形県村山地域での就職・定住への関心を高めるため、学生が村山地域の企業で活躍する若手社員を取材し、山形県村山地域で働くことの良さ、暮らすことの良さ等を、学生の視点から紹介した記事を2020年度からInstagramで発信しています。

2024年度は人文社会科学部・地域教育文化学部・工学部の学生32名が分担して企業17社に訪問します。8月から取材を開始し、若手社員に対してインタビューを開始し、村山地域の企業の魅力や働きやすさ、暮らすことの良さを聞き取りました。また10月以降、企業を紹介する短時間動画を作成します。

取材記事は10月8日から順次、Instagram（アカウント @yamagata.work_life）に掲載を開始しますので、ぜひご覧ください。

なおこの事業は、2020年度から人文社会科学部やまがた地域社会研究所が山形県村山総合支庁から受託して実施しており、取材した学生自身にも、山形での就職への関心を高めるきっかけになることを期待しています。

【取材記事の掲載先】



Instagramアカウント @yamagata.work_life
「働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業」



YAMAGATA.WORK.LIFE

※Instagramのハッシュタグ #よしよしむらやま でも記事を検索できます。

※Instagramに掲載済のインタビュー記事全文は、山形県ホームページで公開しています。

https://www.pref.yamagata.jp/301041/sangyo/sangyoushinkou/murayamachiikikigyou/yoshiyoshi_murayama.html

【これまでの成果】

2020～2023年度にかけて、のべ82人の学生取材員が参加して、のべ85社を取材してきました。これまでに527本（うち動画20本）の記事を作成して、Instagramで配信しました。閲覧数は徐々に増加しています。

※ 閲覧数合計（Instagramと山形県HPの合計）

2020年度 33,320件 2021年度 59,100件 2022年度 67,469件

2023年度 集計中

今年度も、短時間動画を含めて100本以上の記事配信を予定しています。ぜひご覧ください。

Instagramの掲載例（2023年度）

お問い合わせ

学術研究院准教授 吉原 元子（人文社会科学部担当）

TEL 023-628-4256 メール motoko@human.kj.yamagata-u.ac.jp



Let's Find it Together!
2024

働いてよし 暮らしてよし むらやまの企業

休日はどう
過ごす？



山形で暮らして
良かったことは？



1日のスケジュール
を教えてください！



職場の雰囲気は
どんな感じ？



むらやまで活躍する**若手社員100人**以上に山形大生が取材！
Instagramで山形県村山地域の魅力を見つけよう！

パパ育休は
取得した？



山形で働く魅力は？



山形で就職を決めた
理由は？



山形に戻ってきた
のはなぜ？



YAMAGATA.WORK.LIFE

 #よしよしむらやま

 #山形で働く

令和6年度 働いてよし、暮らしてよし 村山の企業情報発信事業
山形県村山総合支庁産業経済部地域産業経済課 TEL 023-621-8438
受託：山形大学人文社会科学部やまがた地域社会研究所

掲載企業一覧

(順不同)

※太字は令和6年度の取材先企業

<村山市>

(株) コヤマ
蔵王米菓 (株) 
ナブテスコオートモーティブ (株)
山形螺子工業 (株)
和光電機通信工業 (株)

<東根市>

アイジー工業 (株)
山形カシオ (株)
(株) 山形共和電業
(株) 山形サンケン
(株) 山本製作所

<尾花沢市>

オプテックス工業 (株)

<寒河江市>

(株) 山形ミートランド

(特非) あじさい
佐藤繊維 (株)
(株) スガサワ
(株) スペースパーツ山形
(株) 高田地研
日東ベスト (株)
(株) マイスター
(株) リプライ
TPR工業 (株)

<河北町>

(株) 高梨製作所

<大江町>

(株) 小堀製作所

<上山市>

(株) 片桐製作所
(株) カトーコーポレーション

<天童市>

エムテックスマツムラ (株)

(株) デンソーFA山形
斎藤マシン工業 (株)
(株) ニチレイフーズ 山形工場
日新製菓 (株)
野川商事グループ

<山形市>

(株) エム・エス・アイ
黒澤建設工業 (株)
(株) さくらんぼテレビジョン
渋谷建設 (株)
スズキハイテック (株)
(株) トプコン山形
(株) ハイテックシステム
(株) ハッピージャパン
富士フィルムBI山形 (株)
(株) 丸勘山形青果市場
山形市農業協同組合
(株) 山形県食肉公社
山形日産自動車 (株)
山形放送 (株)
山形ヤナセ (株)

愛和建设 (株)
税理士法人あさひ会計
(株) アサヒマーケティング
アリオンテック (株)
(株) ウンノハウス
(株) エイアンドシー
(株) 大久保硝子店
(株) クリーンシステム
(福) 敬寿会
(株) サニックス
サンフウ精密 (株)
(株) 鈴木製作所
第一貨物 (株)
高橋畜産食肉 (株)

田宮印刷 (株)
テガラ (株)
(株) でん六
東北電化工業 (株)
(株) とみひろ
日本地下水開発 (株)
ミクロン精密 (株)
ミドリオートレザー (株)
ミネベアミツミ (株) 山形事業所
(株) メコム
(株) メドテック
(株) ヤマコー
山形酸素 (株)
山形パナソニック (株)
(株) YCC情報システム



過年度のインタビュー記事全文は、山形県ホームページで公開中！



令和6年（2024年）10月3日

サクソフォン奏者 芳賀大峰による公開セミナーを開催 ～ サクソフォンの多彩なレパートリー ～

【本件のポイント】

- 2023年度より地域教育文化学部文化創生コース非常勤講師として学生を指導するサクソフォン奏者の芳賀大峰による初の公開セミナー
- ピアノで共演するのは地域教育文化学部文化創生コース主担当の三輪郁教授
- サクソフォンの魅力を味わうことのできるこの機会を、本学学生、関係者のみならず、地域のみなさまに提供



【概要】

山形大学地域教育文化学部では、2017年度より、主に山形交響楽団との連携による地域創生事業として公開レッスンや演奏会等を開催してまいりました。

通算13回目となる今回、本学部で学生の指導にあっているサクソフォンの芳賀大峰とピアノの三輪郁による初の公開セミナーを開催いたします。

スイスのルツェルン音楽大学大学院で学び、とりわけバロック音楽と現代即興音楽の研究と演奏に携わってきた芳賀大峰による、やさしい音色も派手な音色も出すことのできるサクソフォンの魅力を、地域のみなさまにもぜひ味わっていただきたく企画いたしました。

曲間にはレクチャートークも行う予定です。

【開催情報】

山形大学 公開セミナー

サクソフォンの多彩なレパートリー

日時：2024年10月30日（水） 18：30開演（18：00開場）

会場：山形大学 文化ホール（小白川キャンパス内）

入場料：無料

主催：地域教育文化学部

共催：健康と学びのサポートセンター

出演者：芳賀大峰（サクソフォン） 三輪郁（ピアノ）

プログラム：ダリウス・ミヨー 《スカラムーシュ》、フランソワ・ボルヌ 《ファンタジー・ブリランテ》、
クロード・ドビュッシー 《ラプソディー》ほか

対象者：サクソフォンを演奏している小中高校生・大学生・一般の方、音楽に関心のある方、そのほか、年齢を問わずどなたでもご来場いただけます。

お問い合わせ

学術研究院教授（地域教育文化学部主担当）佐川馨

TEL 023-628-4332 メール sagawa@e.yamagata-u.ac.jp

山形大学 公開セミナー

サクソフォンの多彩なレパートリー

サクソフォンのためのオリジナル作品はもちろん、魅力あふれた編曲作品もお届けします。バロックから現代まで、幅広いサクソフォンの魅力に触れてみませんか。

～ PROGRAM ～

ダリウス・ミヨー / スカラムーシュ

SCARAMOUCHE Darius Milhaud

フランソワ・ボルヌ / ファンタジー・ブリランテ

FANTAISIE BRILLANTE François Borne

クロード・ドビュッシー / ラプソディー

RHAPSODIE Claude Debussy

ほか



サクソフォン 芳賀大峰



ピアノ 三輪 郁

2024年 10月30日 (水)

開場 18:00 開演 18:30

山形大学 文化ホール

入場無料

主催：地域教育文化学部 共催：健康と学びのサポートセンター



文化ホールはA11入口からお入りください。

文化ホールはこちら

山形大学小白川キャンパス

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12

- JR山形駅前から県庁行きで山形南高校前（山大入口）下車、そこから徒歩5分
- JR山台駅前から高速バス（約65分）で山形南高校前（山大入口）下車、そこから徒歩5分
- JR山形駅前から徒歩（約20分）
- お車でおいでの場合は、小白川キャンパス野球場西側のコインパーキングをご利用ください。

キャンパス案内板が正門ほか構内に設置されています。

食べる！ 知る！

庄内地方発

最先端フードテック



研究者 × 料理人 × 企業家で考える
私と社会にとっての“よく食べる”

2024.11.5 TUE

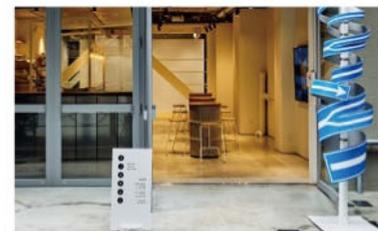
10:30 - PRESS EVENT

17:00 - TALK EVENT

18:30 - MEET UP PARTY

S I G N A L

SOCIAL
ISSUE
GALLERY



social issue gallery 東京都 港区 虎ノ門 1 丁目 2-11
SIGNAL The ParkRex TORANOMON 1F

山形大学

アグリフードシステム
先端研究センター

×

慶應義塾大学

先端生命科学研究所

×

SIGNING

主催：山形大学 アグリフードシステム先端研究センター 慶應義塾大学 先端生命科学研究所
株式会社 SIGNING

後援：一般社団法人 鶴岡サイエンスパーク

PRESS EVENT
お問合せ先

株式会社 SIGNING (サイニング) 広報担当：塚越・三浦・齋藤
TEL: 03-4236-4980 / E-mail: signing_information@signing.co.jp

令和6年度 第1回山形大学農学部

研究シーズ説明会

要予約

参加無料



10月29日(火)

14:00～15:30

研究発表

張 海仲 准教授

「防災・減災に向けた地震および土砂災害ハザード評価手法の開発」

会場

山形大学農学部 1号館 2階会議室

※研究シーズ集の最新情報は、農学部ホームページをご確認下さい。

→ <https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/seeds.html>



お申し込み方法

左のQRコードより申し込みフォームを開き、ご入力下さい
インターネット環境等により入力が難しい場合は裏面の申込書に
記入の上、FAXでもお申込みいただけます



お問い合わせ先：山形大学農学部地域産学官連携協議会事務局（研究・社会共創室）

TEL：0235-28-2909 / FAX：0235-28-2812

E-mail：yu-nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

FAX : 0235-28-2812

お申し込みは、チラシ表面のQRコードから申し込みフォームを開き、ご入力ください。
インターネット環境等により、フォーム入力が難しい場合、以下の申込書により、FAXで
お申し込みください。

10/29 山形大学農学部 研究シーズ説明会参加申込書	
フリガナ 企業名	第1部：研究シーズ説明会 13:00～
役職名 フリガナ お名前	第2部：ビジネスマッチ 14:00～
シーズ集を ご覧いただき、 共同研究など を考えたい教 員や、相談し たい内容など ございましたら、記入して ください。	
住所	〒
E-mail	
TEL FAX	

申込締切



10/21 (月)

農学部では日頃の研究成果を地域社会に発信するために『農学部研究シーズ集』を作成しております。シーズ (seeds=種) とは、新たな産業を生み出す種や芽となる研究、事業化が見込まれる開発研究のことです。すぐに共同研究に結びつかなくとも、農学部で行っている研究活動を皆様にご紹介だけでもありがたいと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

PRESS RELEASE

令和6年（2024年）10月3日

山形大学フットサル大会を10月26日（土）に開催します

～学部の垣根を越えた交流を目指して～

【本件のポイント】

- 山形大学校友会支援事業とし、2012年度から実施しており、今回で11回目
- 本学の人文社会科学部、地域教育文化学部、理学部、医学、工学部、農学部の6学部在籍する学生は誰でも参加可能
- 学部・学科・学年の垣根を越えた学生同士の交流を目指すとともに、参加賞や上位入賞者への賞品として、農学部附属農場の農産物やスマート・テロワール事業の加工品を取り入れ、農学部の取り組み及び「食の都庄内」をPRする予定



【概要】

農学部では、山形大学校友会支援事業として、山形大学フットサル大会を10月26日（土）に鶴岡キャンパス体育館にて開催します。本支援事業としては、2012年以降、今回で11回目（2012年～2019年ビーチサッカー大会、2020年～2021年コロナ禍で中止、2022年～2023年フットサル大会）となります。

フットサルを通じて、学部・学科・学年の垣根を越えて学生同士がつながる機会になることを目指します。

【開催日程】

日時： 令和6年10月26日（土）
10：00 開会
場所： 農学部体育館
（鶴岡市若葉町1-23）

【当日のスケジュール（予定）】

10：00 開会式
10：30～14：00 試合
14：00 閉会式
14：30 選手交流会(芋煮会)

出場チーム募集！
山形大学校友会支援事業
山形大学フットサル大会

期日： 令和6年10月26日（土）
場所： 農学部体育館
参加料： 無料（むしろ参加費あり）
参加締切： 令和6年10月10日（木）まで

当日のスケジュール（予定）
6:40 米沢キャンパス出発(バス)
7:40 小白川キャンパス出発(バス)
10:00 農学部体育館到着・開会式
10:30～14:00 フットサル(試合)
12:00 40分休憩(軽食配付)
14:00 閉会式
14:30 選手交流会(芋煮会)
17:30 小白川キャンパス到着予定
18:30 米沢キャンパス到着予定

① 当日は、米沢・小白川キャンパスからバスが出ます。
(ただし、乗車定員に限りがあります。バス以外の交通方法は交通費支給しません)
② 先着6チーム限定です。
最低6名～10名でチームを編成してください(試合中は何度でも交替可能)。
③ 詳細については、別紙「実施要項」「参加申込書」を確認してください。

参加希望者は、
各学部学務課または学務担当まで！



お問い合わせ

鶴岡キャンパス事務部学務課学務担当（金峰）

TEL 0235-28-2809 メール yu-nogaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

知られざる山形の希少食材の味を作り出す タンパク質の未知に迫る

参加費
無料

山形の知られざる、希少食材の旨みを作り出す。
タンパク質の機能を体感し、山形の食材の未知に迫ります。

先生(代表者) おくの たかし
奥野貴士 理学部・教授

研究1 研究者と同じ視点に立ち! 美味しさを作る酵素の機能解析

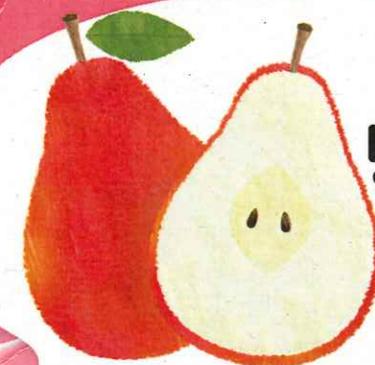
研究2 研究者と同じ視点に立ち! 顕微鏡で細胞観察

研究3 バーチャルとリアルをシームレスに使う視点

山形県飛島の
飛島魚醬
(烏賊)



山形県上山市の
リーガルレッド
コミス
(西洋ナシ)



令和6年

11月9日土
9:30-16:30

受講
対象者
高校生

募集人数
15名

場所

山形大学 小白川キャンパス (理学部棟正面玄関集合)
〒990-8560 山形県山形市小白川町1-4-12

持ち物

筆記用具 / お弁当・飲み物 (大学近くにコンビニもあります)

特記事項

※果物やイカの魚醤を試食する場合がありますので、アレルギーがある場合は、事前にお知らせください。
※動きやすい靴、服装でお越しください。サンダルとハイヒールは不可です。
※イカ・魚・果物から細胞を採取する場合があります。

お問合せ・お申込先

山形大学小白川キャンパス
事務部運営支援課
☎023-628-4702

✉ yu-kj-kenkyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



申し込みは
こちらの
QRから

申込
締切日

2024年
10月18日金

※当プログラムは先着順にて受付を行います。



本プログラムは、JSPS科研費JP24HT0014の助成を受けたものです

主催: 山形大学

後援: 独立行政法人 日本学術振興会

サイエンスカフェ

2024

11月9日 土

13:30-15:00

研究者、 魚醬と 出会う

魚醬をご存じだろうか？実は、山形にも魚醬（塩辛）が存在する。飛島の塩辛（魚醬）を通じて、「伝統とは何か」を考えたい。

- program -

白石哲也（山形大学学士課程基盤教育院・准教授）

「世界の魚醬文化から見た飛島塩辛」

松本剛（山形大学人文社会学部・教授）

「飛島にて消えゆく伝統を前にして考えたこと」

奥野貴士（山形大学理学部・教授）

「魚醬樽に広がる微生物の世界と解析方法の開発」

高木牧子（山形県水産研究所・主任専門研究員）

「イカが消えた海ー飛島から山形の漁業を考えるー」

五十嵐 悠（山形県水産研究所・研究員）

「飛島の「塩辛」の正体は!?!その製法にせまる」

申込みはこちら！



申込期限：11月3日（日）

定員：30名（空きがあれば当日参加可）

参加費：500円（コーヒー代）

参加対象者：どなたでも可

場所：SAKATANTO(酒田港)

所在地：998-0036 山形県酒田市船場町2丁目5-15

交通：酒田駅より車10分、酒田ICより車15分

